Panasonic

取扱説明書

デジタルハイビジョンビデオカメラ

品番 HC-V210M

安全上のご注意

準備

基本

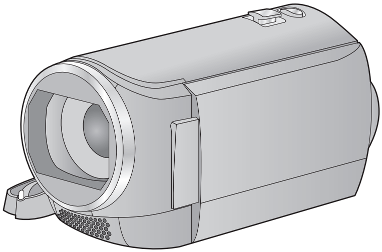
応用･撮影

応用･再生

コピー/ダビング

パソコンで使う

大事なお知らせ



保証書付き

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、
まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- **ご使用前に「安全上のご注意」（94 ～ 98 ページ）を必ずお読みください。**
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

AVCHD Progressive

VQT4T48
F1212MZ0

目次

準備

基本

応用・撮影

応用・再生

「安全上のご注意」を必ずお読みください(94 ～ 98 ページ)

応用・再生(続き)

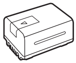
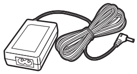
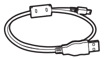
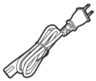
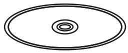
コピー / ダビング

パソコンで使う

大事なお知らせ

付属品

以下の付属品がすべて入っているかお確かめください。
記載の品番は、2012 年 12 月現在のものです。

□ バッテリーパック VW-VBT190 	□ HDMI ミニケーブル K1HY19YY0021 
□ AC アダプター VSK0780 	□ USB 接続ケーブル K2KYYYY00201 
□ 電源コード K2CA2YY00247 	□ CD-ROM （パソコン専用） 

- AC アダプターに同封されているチラシは、海外モデル用です。
  AC アダプターの安全上のご注意については 94 ～ 98 ページ、使用上のお願いは 101 ページをお読みください。
- 電源コードキャップおよび包装材料は商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。
- 小物部品については乳幼児の手の届かないところに適切に保管してください。

必ずお読みください

■ ビデオ撮影時の記録方式について

本機はAVCHD※[1]、iFrame、MP4の3種類の記録方式で、ビデオ撮影できます。(P40)

※1. AVCHD Progressive（1080/60p）に対応しています。

AVCHDとは：

ハイビジョンテレビでの再生やディスクの保存※[2]に適しています。

※2. 1080/60p記録した映像を保存するには、付属のソフトHD Writer LE 2.0でディスクにコピーして保存してください。

iFrameとは：

Mac（iMovie '11）での再生や編集に適した記録方式です。

- AVCHDの記録方式で記録したビデオと互換性はありません。

MP4とは：

パソコンでの再生や編集に適した記録方式です。

- AVCHDの記録方式で記録したビデオと互換性はありません。

■ 事前に必ず試し撮りをしてください

大切な撮影のときには、必ず事前に試し撮りをし、正常に撮影や録音されていることを確かめてください。

撮影内容の補償はできません

本機およびSDカードや内蔵メモリーの不具合で撮影や録音されなかった場合の内容の補償につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

- 本製品の使用、または故障により生じた直接、間接の損害につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。また、本機を修理した場合においても同様です。
- 本製品によるデータの破損につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

■ 本書内の写真、イラストについて

本書内の製品姿図・イラスト・メニュー画面などは実物と多少異なりますが、ご了承ください。

■ 本書での記載について

以下のように記載しています。

- バッテリーパック→「バッテリー」
- SDメモリーカード、SDHCメモリーカード、SDXCメモリーカード→「SDカード」
- ビデオ撮影 / ビデオ再生で使える機能→ **ビデオ**
  写真撮影 / 写真再生で使える機能→ **写真**
- 1080/60p、1080/60iで記録したシーン→「AVCHDのシーン」
- 参照いただくページ→ P00

準備

■ 内蔵メモリーの取り扱い

本機は記録メモリーを内蔵しています。ご使用の際は、以下の点に十分お気をつけください。

定期的に保存（バックアップ）をする
内蔵メモリーは一時的な保管場所です。静電気や電磁波、破損、故障などで大切なデータが消失しないよう、パソコンやディスクなどにコピーしてください。（P77）

- 内蔵メモリー、カードアクセス（認識、記録、再生、消去など）中に動作中ランプ [ACCESS]（P9）が点灯します。点灯中に下記の動作を行わないでください。内蔵メモリーが破損したり、本機が正常に動作しなくなることがあります。
  – 電源を切る（バッテリーを外す）
  – USB 接続ケーブルを抜き差しする
  – 振動や衝撃を与える
- 本機の廃棄 / 譲渡につきましては 100 ページをお読みください。

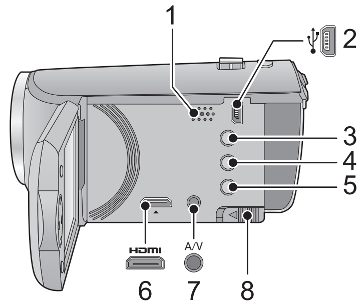
■ 露付き（レンズや液晶モニターが曇るとき）について

露付きは、屋外や寒い部屋から暖かい部屋に持ち込むなど、温度差や湿度差があると起こります。レンズや液晶モニターの汚れ、かび、故障の原因となりますのでお気をつけください。

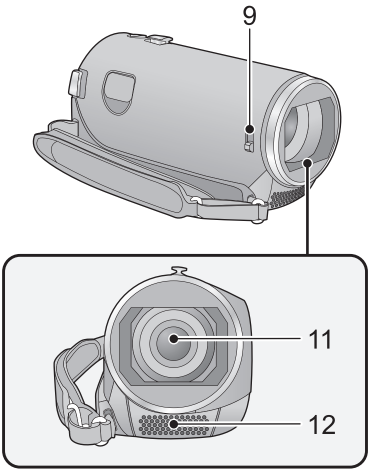
温度差のある場所へ持ち込むときは、約 1 時間移動先の室温になじませると、露付きを防止することができます。（温度差が激しい場合は、ビニール袋などに本機を入れ、空気を抜き、密閉してください）

露付きが起こった場合、バッテリーや AC アダプターを外して、約 1 時間ほどそのままにしておいてください。周囲の温度になじむと曇りが自然に取れます。

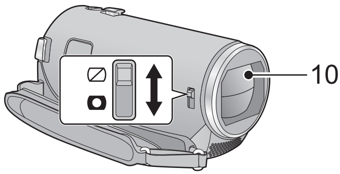
各部の名前



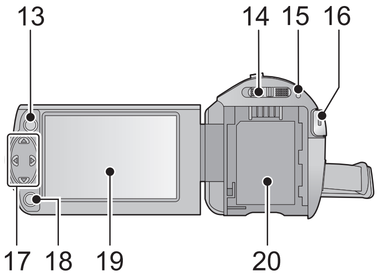
1 スピーカー
2 USB 端子（P66、71、82）
3 インテリジェントオート / マニュアルボタン [iA/MANUAL]（P21、44）
4 手ブレ補正 / 消去ボタン [((✋))O.I.S./ 🗑]（P35、54）
5 電源ボタン [⏻/I]（P15）
6 HDMI ミニ端子（P60）
7 A/V 端子（P60、73）
8 バッテリー取り外しレバー [BATT]（P10）



9 レンズカバー開閉スイッチ
使用しないときは、レンズ保護のためレンズカバーを閉じてください。
- スイッチをスライドさせて開く / 閉じる



10 レンズカバー
11 レンズ
12 内蔵ステレオマイク



13 MENU ボタン [MENU]（P26）
14 モードスイッチ（P15）
15 動作表示ランプ（P15）
16 撮影開始 / 一時停止ボタン（P19）
17 カーソルボタン
撮影機能の選択や再生操作、メニュー設定時などに使用します。（P23、26、36）

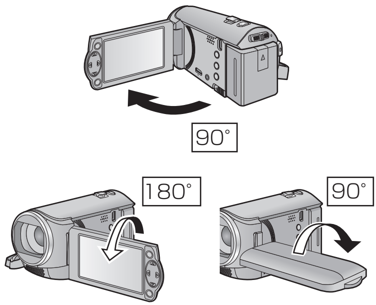
（上下左右の選択）
本書では、カーソルボタンを下図のように、または、▲/▼/◀/▶ で説明しています。

（例）▼（下）ボタンを押すとき

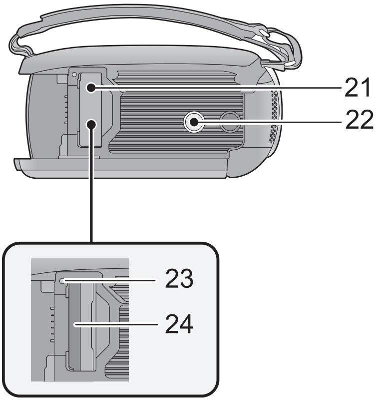


または　**▼ を押す**

18 ENTER ボタン [ENTER]
（P23、26、36）
19 液晶モニター（P17）



20 バッテリー取り付け部（P10）



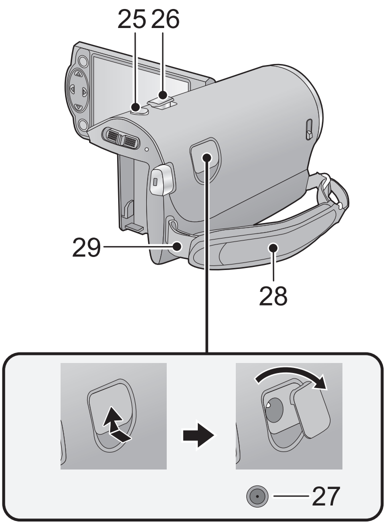
21 カード扉（P14）

22 三脚取り付け穴

- ねじの長さが5.5 mm以上の三脚を取り付けると、本機を傷つける場合があります。当社標準三脚 VW-CT45（別売）をお使いになることをお勧めします。

23 動作中ランプ [ACCESS]（P14）

24 カード挿入部（P14）



25 フォトショットボタン [📷]（P20）

26 撮影時：ズームレバー［W/T］（P34）

再生時：ボリュームレバー

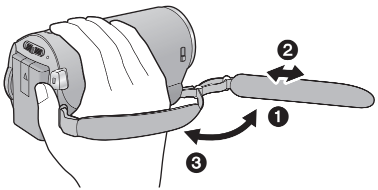
[−VOL+]（P24）

サムネイル表示切り換え

[▦ / 🔍]（P24）

27 DC 入力端子 [DC IN]（P11）

28 グリップベルト



❶ ベルトをめくる

❷ 手の大きさに合わせて長さを調整する

❸ ベルトを留める

29 ショルダーストラップ取り付け部（P104）

準備

電源の準備

本機で使えるバッテリー（2012 年 12 月現在）

本機で使えるバッテリーは VW-VBT190/VW-VBT380/VW-VQT380 です。

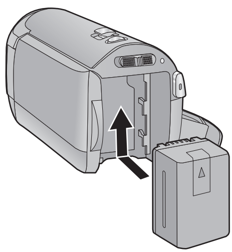
- 本機には、使用できるバッテリーを判別する機能があり、専用バッテリー（VW-VBT190/VW-VBT380/VW-VQT380）は、この機能に対応しています。（P101）

パナソニック純正品に非常によく似た外観をした模造品のバッテリーが一部国内外で流通していることが判明しております。このようなバッテリーの模造品の中には、一定の品質基準を満たした保護装置を備えていないものも存在しており、そのようなバッテリーを使用した場合には、発火・破裂等を伴う事故や故障につながる可能性があります。安全に商品をご使用いただくために、バッテリーを使用するパナソニック製の機器には、弊社が品質管理を実施して発売しておりますパナソニック純正バッテリーのご使用をお勧めいたします。
なお、弊社では模造品のバッテリーが原因で発生した事故・故障につきましては、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

バッテリーを付ける / 外す

- 電源ボタンを押して、電源を切る（P15）

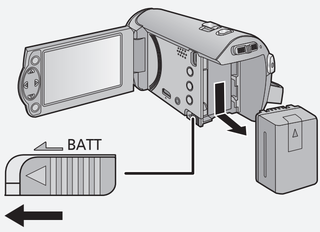
バッテリーを図の向きに取り付ける



「カチッ」と音がして、
ロックがかかるまで押し込む

バッテリーを外すには

必ず動作表示ランプが消灯するまで、電源ボタンを押し続けて電源を切り、落下させないよう手で支えて取り外してください。

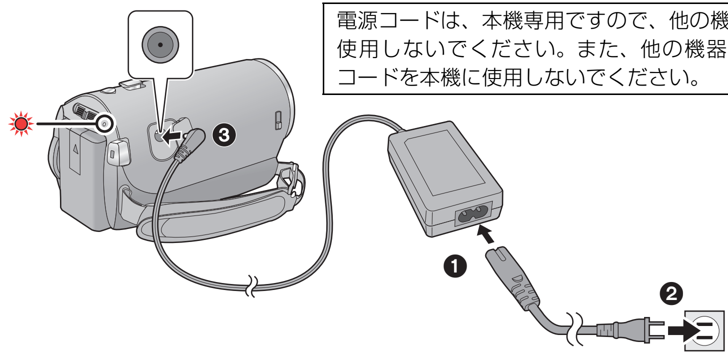


矢印の方向にスライドさせた
状態で取り外す

お買い上げ時、バッテリーは充電されていませんので、十分に充電してからお使いください。

- **ACアダプターは付属のACアダプターをお使いください。他の機器のACアダプターは使用しないでください。**
- **電源を入れているときはバッテリーは充電できません。**
- **充電は周囲の温度が 10 ℃～ 30 ℃（バッテリーの温度も同様）のところで行うことをお勧めします。**

電源コードは、本機専用ですので、他の機器には使用しないでください。また、他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。



1 電源コードを AC アダプターにつなぐ

- 電源コードは ❶❷ の順に、奥に突き当たるまで差し込んでください。

2 DC 入力端子に AC アダプターをつなぐ

- DC 入力端子のカバーを挟まないようにしてください。

動作表示ランプが約 2 秒間隔（約 1 秒点灯、約 1 秒消灯）で赤色点滅し、充電が始まります。充電が完了すると消灯します。

■ 電源コンセントにつないで使うときは

AC アダプターを接続して本機の電源を入れると、コンセントから電源を供給しながら使用できます。

AC アダプターに接続して長時間撮影する場合は、バッテリーと併せて使用してください。

■ 他の機器につないで充電するには

他の機器と USB 接続ケーブルでつないでバッテリーを充電することができます。
詳しくは 83 ページをお読みください。

お知らせ

- 動作表示ランプの点滅速度が速いときや遅いときは 102 ページをお読みください。
- 海外でお使いになる場合は 105 ページをお読みください。

■ 充電時間 / 撮影可能時間（温度 25 ℃ / 湿度 60%RH）

<table>
<tr><th>バッテリー品番
[電圧 / 容量（最小）]</th><th>充電時間
（カッコ内は
USB 充電時）</th><th>記録方式</th><th>記録モード</th><th>連続撮影可能
時間</th><th>実撮影可能
時間</th></tr>
<tr><td rowspan="6">付属バッテリー /
VW-VBT190（別売）
[3.6 V/1940 mAh]</td><td rowspan="6">約 2 時間
20 分
（約 5 時間
20 分）</td><td rowspan="4">AVCHD</td><td>1080/60p</td><td>約 2 時間</td><td>約 1 時間</td></tr>
<tr><td>HA</td><td>約 2 時間
10 分</td><td>約 1 時間
5 分</td></tr>
<tr><td>HG</td><td rowspan="2">約 2 時間
15 分</td><td rowspan="2">約 1 時間
10 分</td></tr>
<tr><td>HE</td></tr>
<tr><td>iFrame</td><td>—</td><td rowspan="2">約 2 時間
35 分</td><td rowspan="2">約 1 時間
20 分</td></tr>
<tr><td>MP4</td><td>—</td></tr>
<tr><td rowspan="6">VW-VBT380（別売）/
VW-VQT380（別売）
[3.6 V/3880 mAh]</td><td rowspan="6">約 3 時間
45 分
（約 9 時間
45 分）</td><td rowspan="4">AVCHD</td><td>1080/60p</td><td>約 4 時間
10 分</td><td>約 2 時間
10 分</td></tr>
<tr><td>HA</td><td rowspan="2">約 4 時間
30 分</td><td rowspan="3">約 2 時間
20 分</td></tr>
<tr><td>HG</td></tr>
<tr><td>HE</td><td>約 4 時間
35 分</td></tr>
<tr><td>iFrame</td><td>—</td><td>約 5 時間
10 分</td><td>約 2 時間
40 分</td></tr>
<tr><td>MP4</td><td>—</td><td>約 5 時間
20 分</td><td>約 2 時間
45 分</td></tr>
</table>

- **充電時間はバッテリーを使い切ってから充電した場合の時間です。高温 / 低温時など、使用状況によって充電時間、撮影可能時間は変わります。**

お知らせ

- 実撮影可能時間とは、撮影 / 停止、電源の入 / 切、ズーム操作などを繰り返したときに撮影できる時間です。
- 使用後や充電後はバッテリーが温かくなりますが、異常ではありません。
- バッテリーパック VW-VQT380（別売）は、（チー）マークが付いているワイヤレス充電パッドを使って、ワイヤレス（無接点）充電することもできます。
- ワイヤレス充電するときは、下記の当社製品を推奨します。（2012 年 12 月現在）
  – ワイヤレス充電パッド（品名 / 品番：無接点充電パッド /QE-TM101）
  – ブルーレイディスクレコーダー（品番：DMR-BZT920、DMR-BZT830）

バッテリー残量表示について

- バッテリーの残量が少なくなるに従って、→→→→と表示が変わります。容量がなくなるとが赤色で点滅します。

カードに記録するには

本機は SD カードまたは内蔵メモリーにビデオや写真を記録することができます。
SD カードに記録したい場合は下記をお読みください。

本機で使えるカード

ビデオ撮影時は、SD スピードクラス※が 4 以上の SD カードをお使いください。

- **使えるカードは 2012 年 12 月現在のものです。**

カードの種類	記録容量
SD メモリーカード	512 MB/1 GB/2 GB まで
SDHC メモリーカード	4 GB/6 GB/8 GB/12 GB/16 GB/24 GB/32 GBまで
SDXC メモリーカード	48 GB/64 GB

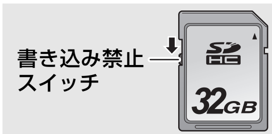
※ SD スピードクラスとは、連続的な書き込みに関する速度規格です。カードのラベル面などでご確認ください。

（例） CLASS 4

最新情報は、下記サポートサイトでご確認ください。

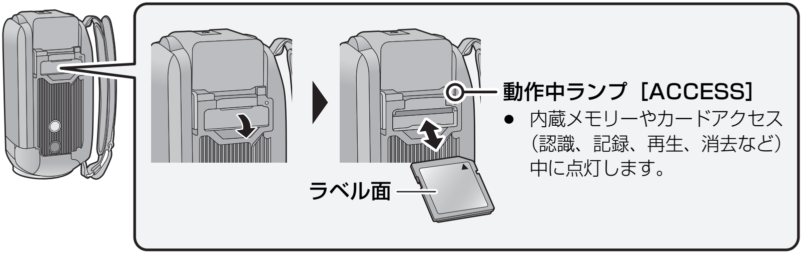
http://panasonic.jp/support/video/connect/

- **SDHC メモリーカード /SDXC メモリーカードを他の機器で使う場合は、各メモリーカードに対応しているか確認してください。**
- Eye-Fi 連動機能（P74）を使うには、Eye-Fi X2 シリーズの SD カードが必要です。
- 上記以外の SD カードは動作保証しておりません。また、32 MB 以下の SD カードはビデオ撮影に使用できません。
- SDHC ロゴのない 4 GB 以上のメモリーカードや SDXC ロゴのない 48 GB 以上のメモリーカードは、SD 規格に準拠していないため使用できません。
- SD カードの書き込み禁止スイッチを図のように「LOCK」側にすると、書き込みやデータの消去、フォーマットができなくなります。戻すと可能になります。



当社製以外の SD カードや他の機器でお使いになった SD カードを本機で初めてお使いの場合は、まずフォーマットしてください。（P31）
フォーマットすると、SD カードに記録されているすべてのデータは消去され、元に戻すことはできません。

動作中ランプの消灯を確認してください。



1 カード扉を開いて、カード挿入部に SD カードを入れる（出す）

- 入れるときはラベル面を図の方向に向けて、「カチッ」と音がするまでまっすぐ押し込む。
- 出すときは、SD カードの中央部を押し込んで、まっすぐ引き抜く。

2 カード扉を閉じる

- 「カチッ」と音がするまで確実に閉じてください。

お知らせ

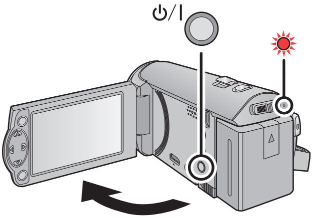
- SD カードの裏の接続端子部分に触れないでください。
- SD カードの取り扱いについて詳しくは 102 ページをお読みください。

電源を入れる / 切る

電源ボタン、液晶モニターの開閉で電源を入 / 切できます。

電源ボタンで電源を入れる / 切る

液晶モニターを開き、電源ボタンを押して電源を入れる



【電源を切るには】
動作表示ランプが消灯するまで、
電源ボタンを押し続けてください。

動作表示ランプが点灯します。

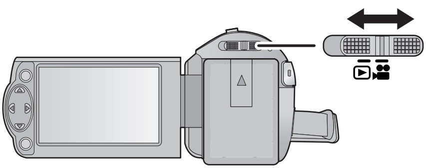
準備

液晶モニターで電源を 入れる / 切る

液晶モニターを開くと電源が入り、閉じると電源が切れます。
通常ご使用の際は、液晶モニターで電源を入 / 切すると便利です。
- ビデオ撮影中は、液晶モニターを閉じても電源は切れません。
- 以下の場合は、液晶モニターを開いても電源は入りません。電源ボタンを押して、電源を入れてください。
  - お買い上げ時
  - 電源ボタンで電源を切った場合

モードを選ぶ

モードスイッチをスライドさせて 🎥 または ▶ に合わせる



🎥	**撮影モード（P19、20）**	ビデオや写真を記録します。
▶	**再生モード（P23、48）**	ビデオや写真を再生します。

時計を設定する

お買い上げ時は時計設定はされていません。必ず時計設定を行ってください。

● モードスイッチを 🎥 に合わせる

1 メニュー設定する（P26）

MENU：「セットアップ」→「時計設定」

2 ◀/▶ を押して合わせる項目（年 / 月 / 日 / 時 / 分）を選択し、▲/▼ を押して数字を合わせる



ワールドタイム設定表示（P27）：
（ホーム）/（旅行先）

- 2000 年から 2039 年まで設定できます。

3 ENTER ボタンを押す

- ワールドタイム設定を促すメッセージが表示されることがあります。ENTERボタンを押して、ワールドタイム設定をしてください。（P27）
- MENU ボタンを押して設定を終了します。

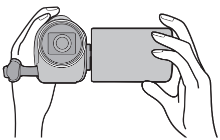
お知らせ

- 電源を入れたとき、「時計を設定してください。」というメッセージが表示される場合があります。「はい」を選んで、手順2からの操作で時計設定をしてください。
- 時刻表示が「――」のときは、内蔵日付用電池が消耗しています。内蔵日付用電池を充電するには、本機に AC アダプターをつなぐかバッテリーを取り付けてください。電源を切った状態でも充電しています。約 24 時間そのままにしておくと、約 4 か月間時計設定を記憶します。

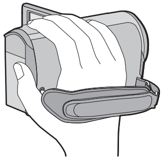
撮影前の確認

■ 基本的な構え方

両手でしっかりと持つ



グリップベルトに手を通す



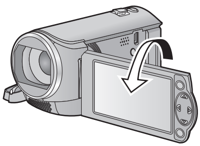
- 撮影時には、足場が安定していることを確認し、ボールや競技者などと衝突するおそれがある場所では周囲に十分お気をつけください。
- 屋外では、なるべく太陽を背にして撮影してください。逆光では被写体が暗く撮影されます。
- 脇を締め、足を少し開き、体が安定した状態で構えてください。
- マイク部を手などで塞がないでください。

■ 基本的なビデオ撮影のしかた

- 本機を固定して撮影するのが基本です。
- 本機を動かして撮影する場合は、ゆっくりと一定の速さで動かします。
- ズーム操作は近くで撮影できない被写体を撮影するときに便利ですが、ズームイン / ズームアウトを多く使いすぎると、見づらい映像になる場合があります。

■ 自分自身を映すには（対面撮影）

液晶モニターをレンズ側に回転させる



- 液晶モニターに映る映像が鏡のように左右反転しますが、記録される映像は通常どおりです。
- 画面表示は一部だけになります。[!] が表示されたときは、液晶モニターを元に戻して、メッセージ表示を確認してください。（P89）

■ 撮影場面に合わせた設定例

大切な撮影の前には、どの設定でどのように撮れるか、試しておきましょう。
以下の設定は目安です。

場面	設定
体育館	ホワイトバランス（P45）→ [屋内2アイコン]（屋内 2）または [セットアイコン]（セットモード）
披露宴 / 舞台 / 発表会など	インテリジェントオート（P21）
動きの速いシーン（ゴルフのフォームなど）	シーンモード（P39）→ [スポーツアイコン]（スポーツ） ホワイトバランス（P45）→オート フォーカス（P47）→マニュアル
打ち上げ花火	シーンモード（P39）→ [花火アイコン]（花火）
運動会	ホワイトバランス（P45）→オート

準備
基本

記録するメディアを選ぶ

ビデオを記録するメディアと写真を記録するメディアを、それぞれカードまたは内蔵メモリーに設定できます。

1 モードスイッチを 🎥 に合わせる

2 メニュー設定する（P26）

MENU：「メディア選択」

3 ▲/▼/◀/▶ を押してビデオを記録するメディアと写真を記録するメディアを選択し、ENTER ボタンを押す



- ビデオと写真それぞれに設定したメディアが黄色の枠で囲まれます。
- ⮌ を選択し ENTER ボタンを押すと、前の画面に戻ります。（設定は変更されません）

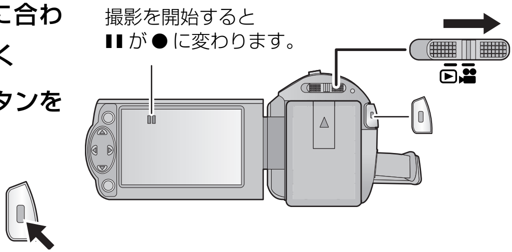
4 MENU ボタンを押して設定を終了する

ビデオを撮る ビデオ

● 電源を入れる前に、レンズカバーを開けてください。(P7)

1 モードスイッチを 🎥 に合わせて液晶モニターを開く

2 撮影開始/一時停止ボタンを押して撮影を始める



3 撮影開始/一時停止ボタンをもう一度押して撮影を停止する

■ ビデオ撮影時の画面表示について



HG1920	記録方式/記録モード
残 1 時間 20 分	残り記録可能時間の目安 ● 1 分未満になると赤色点滅します。
0h00m00s	撮影の経過時間 ● h は「hour(時間)」、m は「minute(分)」、s は「second(秒)」を省略した表示です。 ● 撮影の一時停止ごとに 0h00m00s に戻ります。

お知らせ

● **記録方式を切り換えるには、「記録方式」または「記録モード」を変更してください。(P40)**
- 撮影を開始してから停止するまでが 1 シーンとして記録されます。
「記録方式」を「iFrame」または「MP4」に設定して撮影した場合は、約 20 分を超えたシーンは自動的に分割されます。(撮影は続きます)
- (SD カード 1 枚、または内蔵メモリーの最大記録数)

記録方式	AVCHD	iFrame/MP4
シーン	約 3900	約 89100
日付別 (P50)	約 900	約 900

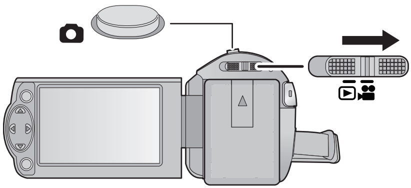
- SD カードまたは内蔵メモリーに iFrame または MP4 のシーンと写真が記録されている場合、シーンの最大記録数と日付別の最大記録数は上記の表よりも少なくなります。
- 撮影中に液晶モニターを閉じても撮影は続きます。
- 記録可能時間の目安については 108 ページをお読みください。

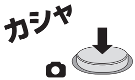
写真を撮る 写真

● 電源を入れる前に、レンズカバーを開けてください。（P7）

1 モードスイッチを に合わせて液晶モニターを開く

2 フォトショットボタンを押す





● 写真記録中は、写真動作表示（ ）が赤色になります。

■ 写真撮影時の画面表示について



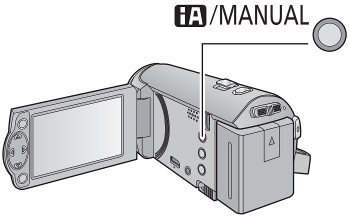
10M	記録画素数（P43）
残 3000	残り記録可能枚数 ● 「0」になると赤色点滅します。
	写真動作表示（P87）

お知らせ

- ビデオ撮影中、または PRE-REC 設定時は写真撮影できません。
- 暗い場所ではシャッター速度が遅くなりますので、三脚の使用をお勧めします。
- 本機で記録した横縦比 16:9 の写真は、プリント時に端が切れることがあります。お店やプリンターなどでプリントする場合は事前にご確認ください。
- 写真の残り記録可能枚数の表示は最大9999枚です。残り記録可能枚数が9999枚を超える場合は、「残 9999 ＋」と表示されます。写真を記録しても表示は 9999 枚以下になるまで変わりません。
- 撮影条件によって記録にかかる時間が長くなる場合があります。

インテリジェントオート ビデオ 写真

撮りたいものに本機を向けるだけで、撮影状況に適した以下のモードになります。



インテリジェントオート / マニュアルボタン
ボタンを押して、インテリジェントオートモードとマニュアルモード（P44）を切り換えます。

モード	効果
(人物)	顔を検出し、自動でピントを合わせ、きれいに映るように明るさを調整します。
(風景)	背景の空が白飛びする場面でも、白飛びをさせず風景全体を鮮やかに撮影できます。
(スポットライト)	極端に明るい被写体をきれいに撮影できます。
(ローライト)	薄暗い屋内や夕暮れ時でもきれいに撮影できます。
iA(ノーマル)	上記のモード以外でコントラストを調整し、きれいな映像にします。

お知らせ

- 撮影状況によっては、希望のモードにならない場合があります。
- 人物 / スポットライト / ローライトモード時は、顔を検出すると白色の枠で囲まれます。
  また人物モード時は、より大きく画面の中心に近い顔が、オレンジ色の枠で囲まれます。(P41)
- 顔の大きさや傾きまたはデジタルズーム使用時など、撮影状況によっては顔が検出できないことがあります。

基本

■ インテリジェントオートについて

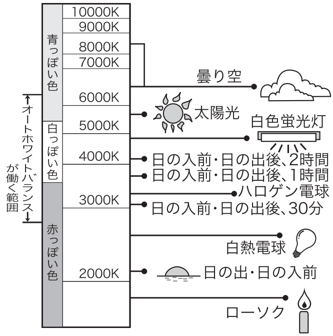
インテリジェントオートモード時は、オートホワイトバランスとオートフォーカスが働き、自動で色合い（ホワイトバランス）やピント（フォーカス）を合わせます。また、絞りとシャッター速度で明るさを自動的に調整します。

- 光源や撮る場面によっては、色合いやピントが自動で合いません。このような場合は、手動（マニュアル）で調整してください。（P45、47）

オートホワイトバランスについて

オートホワイトバランスが働く範囲は図のとおりです。

オートホワイトバランスが正常に働かない場合は、手動でホワイトバランスを調整してください。（P45）



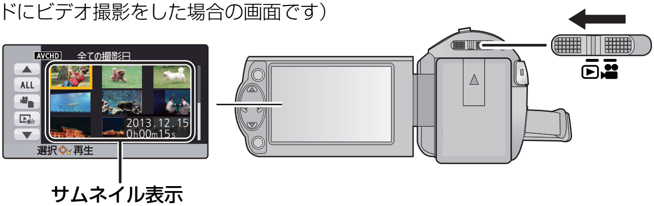
オートフォーカスについて

自動的にピントを合わせます。

- 次のようなシーンでは、オートフォーカスが正しく働きません。マニュアルフォーカスでの撮影をお勧めします。（P47）
  – 遠くと近くのものを同時に撮る
  – 汚れたガラスの向こう側のものを撮る
  – キラキラと光るものが周りにある

ビデオ / 写真を再生する ビデオ 写真

（SD カードにビデオ撮影をした場合の画面です）



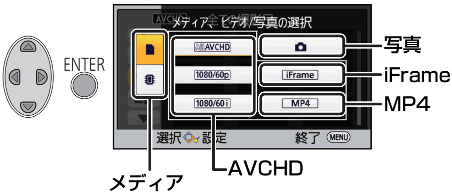
1 モードスイッチを ▶ に合わせる

2 ▲/▼/◀ を押してプレイモード選択アイコンを選択し、ENTER ボタンを押す

- メニューからも設定できます。
  「ビデオの管理」または「写真の管理」→「メディア、ビデオ / 写真」(P26)



3 ▲/▼/◀/▶ を押して再生したいメディアとビデオ / 写真を選択し、ENTER ボタンを押す



- MENU ボタンを押す、またはビデオ / 写真を選択し ENTER ボタンを押すと、設定を終了します。
- ビデオの項目を選択した場合は、サムネイル表示にアイコンが表示されます。
  （AVCHD 、1080/60p 、1080/60i 、i Frame 、MP4 ）
- 「ALL AVCHD」を選択すると、1080/60p のシーンには 60p が表示されます。

4 ▲/▼/◀/▶ を押して再生するシーンまたは写真を選択し、ENTER ボタンを押す

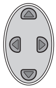
- ▲ / ▼ を選択し、ENTER ボタンを押すと、次の（前の）ページを表示します。



基本

5 ▲/▼/◀/▶ を押して操作アイコンを選択し、再生操作する

- ENTER ボタンを押すと操作アイコンを表示 / 非表示します。



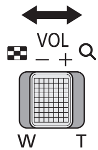


ビデオ再生		写真再生	
▶/❚❚	再生 / 一時停止	▶/❚❚	スライドショーの開始 / 一時停止
◀◀	早戻し再生※	◀❚❚	前の写真を再生
▶▶	早送り再生※	❚❚▶	次の写真を再生
■	停止してサムネイル表示に戻る	■	停止してサムネイル表示に戻る

※ 2 回押すと、早戻し / 早送り速度が速くなります。（画面表示が ◀◀◀ / ▶▶▶ になります）

■ サムネイル表示の切り換え

サムネイル表示時に、ズームレバーを 🔍 側、▦ 側に操作すると、サムネイル表示が以下の順で切り換わります。



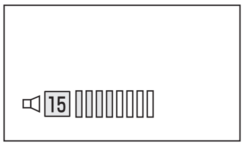
20 シーン ⟷ 9 シーン ⟷ 1 シーン

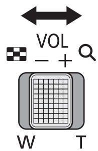
- 電源を切るかモードスイッチを切り換えると 9 シーン表示に戻ります。

■ 音量調整

ビデオ再生時のスピーカー音量を調整するには、ボリュームレバーを操作してください。

＋側	：音量を上げる
－側	：音量を下げる





お知らせ

- 通常のビデオ再生以外では音声は出ません。
- ビデオ再生の一時停止を約 5 分続けると、サムネイル表示に戻ります。
- ビデオ再生の経過時間表示は、シーンごとに 0h00m00s に戻ります。
- 「ALL AVCHD」を選択して再生すると、シーンの切り換わりで画面が一瞬黒くなる場合があります。

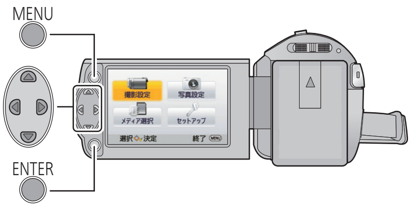
ビデオの互換性について

- 本機は AVCHD Progressive/AVCHD/MPEG-4 AVC ファイル規格に準拠しています。
- 各規格に対応した機器であっても、他の機器で記録したビデオの本機での再生、本機で記録したビデオの他の機器での再生は、正常に再生されなかったり、再生できない場合があります。（本機で再生できないビデオは［!］が表示されます）
  お使いの機器の説明書で対応を確認してください。
- MP4 のビデオは、本機で記録した MP4 のみ本機で再生できます。

写真の互換性について

- 本機は一般社団法人 電子情報技術産業協会（JEITA）にて制定された統一規格 DCF（Design rule for Camera File system）に準拠しています。
- 本機で再生できる写真のファイル形式は JPEG です。（JPEG 形式でも再生できないものもあります）
- 他の機器で記録 / 作成した写真の本機での再生、本機で記録した写真の他の機器での再生は、正常に再生されなかったり、再生できない場合があります。

メニュー設定する

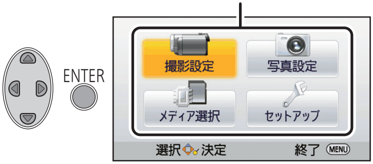


1 MENU ボタンを押す



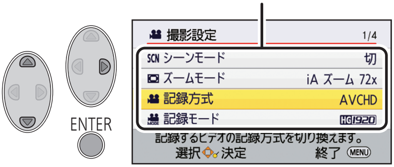
2 ▲/▼/◀/▶ を押して
トップメニューを選択し、
ENTER ボタンを押す

トップメニュー

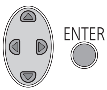


3 ▲/▼ を押してサブメニューを
選択し、▶ を押す、
または ENTER ボタンを押す

サブメニュー



4 ▲/▼/◀/▶を押して
項目を選択し、
ENTER ボタンを
押して設定する



【前の画面に戻るには】
◀ を押す

【メニュー設定を終了するには】
MENU ボタンを押す

■ インフォメーション表示について
手順 3、4 で、選択しているサブメニューや項目の説明が表示されます。

■ よく使うアイコンについて
▲/▼:
ページを切り換えるときに選択し、
ENTER ボタンを押します。

⮌:
前の画面に戻るときに選択し、
ENTER ボタンを押します。



セットアップメニューを使う

画面表示

画面情報表示の表示方法を設定します。

MENU ：「セットアップ」→「画面表示」→希望の設定

「入」（すべての情報を表示）/「切」（一部の情報を表示）

外部表示

61 ページをお読みください。

時計設定

16 ページをお読みください。

ワールドタイム設定

お住まいの地域と旅行先を選び、旅行先の時刻を表示、記録することができます。

● **モードスイッチを 🎥 に合わせる**

1） メニュー設定する

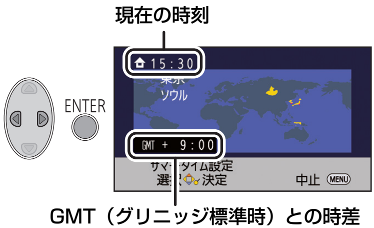
MENU ：「セットアップ」→「ワールドタイム設定」

- 時計設定がされていない場合は、まず現在の時刻に合わせてから行ってください。
- 「ホーム」（お住まいの地域）が設定されていない場合、メッセージが表示されます。ENTER ボタンを押して、手順 3 に進んでください。

2） （お住まいの地域を設定する場合のみ）
◀/▶ を押して「ホーム」を選択し、ENTER ボタンを押す

3） （お住まいの地域を設定する場合のみ）
◀/▶ を押してお住まいの地域を選択し、ENTER ボタンを押す

- サマータイム（夏時間）にするには、▲ を押してください。⚙◷ が表示されサマータイム設定になり、GMT（グリニッジ標準時）との時差が 1 時間進みます。もう一度 ▲ を押すと元に戻ります。



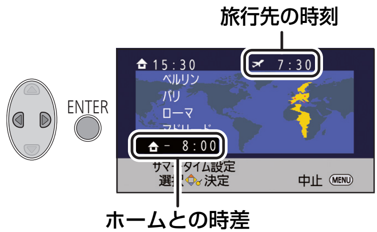
4） （旅行先の地域を設定する場合のみ）
◀/▶ を押して「旅行先」を選択し、ENTER ボタンを押す

- 初めてホームを設定した場合のみ、続けてホーム / 旅行先の選択画面が表示されます。すでにホームを設定している場合は、手順 1 のメニュー設定を行ってください。

5) （旅行先の地域を設定する場合のみ）

◀/▶ を押して旅行先の地域を選択し、ENTER ボタンを押す

- サマータイム（夏時間）にするには、▲ を押してください。 が表示されサマータイム設定になりホームとの時差と旅行先の時刻が 1 時間進みます。もう一度 ▲ を押すと元に戻ります。
- MENU ボタンを押して設定を終了してください。 が画面に表示され旅行先の時刻になります。



【時刻表示をホームに戻すには】

手順 1 ～3でホームを設定し、MENU ボタンを押して設定を終了してください。

お知らせ

- 画面に表示される地域で旅行先が見つからない場合は、ホームからの時差を参考に設定してください。

日時表示

年月日・時刻の表示を切り換えます。

MENU ：**「セットアップ」→「日時表示」→希望の表示**

「日付」/「日時」/「切」

表示スタイル

年月日の表示スタイルを切り換えます。

MENU ：**「セットアップ」→「表示スタイル」→希望の設定**

「年 / 月 / 日」/「月 / 日 / 年」/「日 / 月 / 年」

エコモード（バッテリー）

約 5 分間操作しなかった場合、バッテリーの消耗を防ぐため、自動的に電源が切れます。

MENU ：**「セットアップ」→「エコモード（バッテリー）」→「入」**

- 以下の場合は「エコモード（バッテリー）」を「入」にしていても自動的に電源が切れません。
  - AC アダプター使用時※
  - USB 接続ケーブル使用時
  - PRE-REC 中
  - スライドショー再生中

※ エコモード（AC）が働くと自動的に電源が切れます。

エコモード（AC）

AC アダプター接続時に約 30 分間操作しなかった場合、自動的に電源が切れます。

MENU ：「セットアップ」→「エコモード（AC）」→「入」

- 以下の場合は「エコモード（AC）」を「入」にしていても自動的に電源が切れません。
  – USB 接続ケーブル使用時
  – PRE-REC 中
  – スライドショー再生中

クイックスタート

液晶モニターを開くと約 0.6 秒で撮影の一時停止状態になります。

- 「メディア選択」が「カード」で SD カードが入っていない場合は、クイックスタートは働きません。

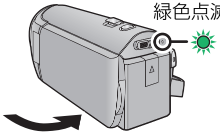
● **モードスイッチを 🎥 に合わせる**

1） メニュー設定する

MENU ：「セットアップ」→「クイックスタート」→「入」

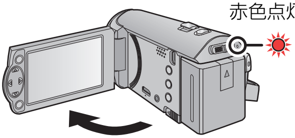
2） 液晶モニターを閉じる

クイックスタートの待機状態になります。



3） 液晶モニターを開く

撮影の一時停止状態になります。



お知らせ

- **クイックスタートの待機状態では、撮影一時停止状態の約 6 割の電力を消費するため、撮影可能時間は短くなります。**
- 以下の場合には、クイックスタートの待機状態が解除され、電源が切れます。
  – 約 5 分経過する
  – モードスイッチを ▶ に合わせる
- ホワイトバランスが自動で調整されるまでに時間がかかることがあります。
- クイックスタートすると、ズーム倍率は約 1 倍の位置になります。
- エコモード（バッテリー）（P28）/ エコモード（AC）が働いて、自動的にクイックスタートの待機状態になった場合は、液晶モニターを閉じて、再度開いてください。
- 電源を切る場合は、電源ボタンで電源を切ってください。

お知らせ音

撮影の開始や停止、電源の入 / 切などを音で確認できます。
「切」にすると、撮影の開始 / 終了時などに音が鳴りません。

MENU：「セットアップ」→「お知らせ音」→希望の設定

(音量小) / (音量大) / 「切」

- エラーが起こったときは「ピピッ、ピピッ…（連続 4 回)」と鳴ります。画面に出るメッセージ表示（P89）の内容を確認してください。

パワー LCD

屋外などの明るい場所でも液晶モニターを見やすくします。

MENU：「セットアップ」→「パワー LCD」→希望の設定

+2（さらに明るい）/ +1（明るい）/ 0（標準）/ -1（暗い）

- 実際に記録される映像には影響しません。

お知らせ

- AC アダプター使用時は、自動的に +1 になります。
- 液晶モニターを明るくしているときは、バッテリーでの撮影可能時間は短くなります。

液晶調整

液晶モニターの明るさや色の濃さを調整します。

- 実際に記録される映像には影響しません。

1） メニュー設定する

MENU：「セットアップ」→「液晶調整」→希望の設定

明るさ　：液晶モニターの明るさ
色レベル：液晶モニターの色の濃さ

2） ◀/▶ を押して調整し、ENTER ボタンを押す

- MENU ボタンを押して設定を終了します。

HDMI 出力解像度

62 ページをお読みください。

ビエラリンク

62 ページをお読みください。

接続するテレビ

61 ページをお読みください。

初期設定

メニューをお買い上げ時の設定に戻します。(モードスイッチが 🎥 のときのみ)

MENU：「セットアップ」→「初期設定」

- 「メディア選択」、「時計設定」、「LANGUAGE」の設定は変わりません。

番号リセット

次に撮影される iFrame/MP4 と写真のファイル番号を 0001 にします。

MENU：「セットアップ」→「番号リセット」

- フォルダー番号が更新され、ファイル番号が 0001 から始まります。(P84)
- フォルダー番号をリセットするには、まず内蔵メモリー、SD カードをフォーマットしてから「番号リセット」を実行してください。

メディアフォーマット

フォーマットすると、すべてのデータは消去されます。大切なデータはパソコンやディスクなどに保存しておいてください。(P77)

MENU：「セットアップ」→「メディアフォーマット」→希望のメディア

「内蔵メモリー」/「カード」/「HDD」※

※ USB ハードディスク接続時に表示されます。(P67)

- フォーマット完了後、MENU ボタンを押してメッセージ画面を閉じてください。
- 本機を廃棄 / 譲渡するときは、内蔵メモリーの物理フォーマットをしてください。(P100)

お知らせ

- フォーマット中は電源を切ったり、SD カードを抜かないでください。また、本機に振動や衝撃を与えないでください。

フォーマットは本機で行ってください。(パソコンなど他の機器ではフォーマットしないでください。本機で使用できなくなる場合があります。)

基本

メディア情報表示

SD カードや内蔵メモリーの使用領域と残り記録可能時間を確認できます。

MENU：「セットアップ」→「メディア情報表示」

- ENTER ボタンを押すと SD カードと内蔵メモリーの表示が切り換わります。
- モードスイッチが 🎥 のときのみ、設定中の記録方式または記録モードでの残り記録可能時間が表示されます。
- MENU ボタンを押して終了してください。

お知らせ

- SDカードや内蔵メモリーは、ファイルシステムなどの管理情報を保存している領域があるため、実際に使える容量が少なくなります。本機やパソコン、一部のソフトウェアでは、表示される値は小さくなります。

バージョン表示

本機のファームウェアのバージョンが表示されます。（モードスイッチが 🎥 のときのみ）

MENU：「セットアップ」→「バージョン表示」

バージョンアップ

本機のファームウェアのバージョンアップを行います。（モードスイッチが 🎥 のときのみ）

MENU：「セットアップ」→「バージョンアップ」

バージョンアップについての最新情報は、下記サポートサイトでご確認ください。（2012 年 12 月現在）

http://panasonic.jp/support/video/connect/

デモモード

本機の紹介（デモ）を始めます。（モードスイッチが 🎥 のときのみ）

MENU：「セットアップ」→「デモモード」→「入」

- AC アダプター使用時に、SD カードが入っていない状態で「デモモード」を「入」に設定し、MENU ボタンを押すとデモが始まります。何か操作をするとデモは中断しますが、約 10 分以上操作がないと、再び自動的に始まります。SD カードを入れるか、「デモモード」を「切」にすると解除されます。

手ブレ補正デモ

手ブレ補正の紹介（デモ）を始めます。（モードスイッチが 🎥 のときのみ）

MENU：「セットアップ」→「手ブレ補正デモ」

- 「手ブレ補正デモ」を選択し、ENTER ボタンを押すとデモが始まります。MENU ボタンを押すと解除されます。

LANGUAGE

画面に表示される言語を設定できます。

MENU：「セットアップ」→「LANGUAGE」→希望の言語

「日本語」/「English」

Eye-Fi 転送

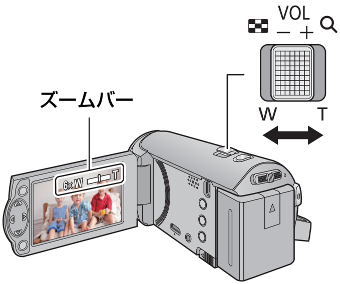
Eye-Fi カード挿入時のみ表示されます。
74 ページをお読みください。

Eye-Fi ダイレクト

Eye-Fi カード挿入時のみ表示されます。
75 ページをお読みください。

ズーム ビデオ 写真

● モードスイッチを 🎥 に合わせる



ズームレバー

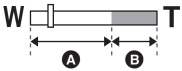
T 側 : 大きく撮る（ズームイン : 拡大）

W 側 : 広く撮る（ズームアウト : 広角）

- ズームレバーは動かす幅によって、ズーム速度が変わります。
- 最大ズーム倍率は「ズームモード」で設定できます。（P40）

■ ズームバーについて

ズーム操作中はズームバーが表示されます。



Ⓐ 光学ズーム
Ⓑ iA ズーム / デジタルズーム（青色）

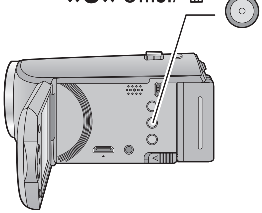
お知らせ

- ズーム操作中にズームレバーから指を離すと、操作音が記録されることがあります。レバーを元の位置に戻すときは、静かに戻してください。
- ズーム倍率が 42 倍のときは、約 1.6 m 以上でピントが合います。
- ズーム倍率が 1 倍のときは、レンズから約 3 cm まで近づいて撮ることができます。

光学式手ブレ補正 ビデオ 写真

光学式手ブレ補正により、ほとんど画質劣化することなく、手ブレを補正することができます。

● モードスイッチを 🎥 に合わせる



手ブレ補正 / 消去ボタン

ボタンを押して、手ブレ補正の入 / 切を切り換えます。

((✋))（入）→切

- 歩きながら撮影する場合は、((✋))（入）にすることをお勧めします。
- 三脚を使用して撮影する場合は、切にすることをお勧めします。

お知らせ

- ブレが大きいときは、補正できないことがあります。

応用・撮影

操作アイコンを選んで撮影機能を使う

操作アイコンを選択すると、いろいろな効果をつけて撮影できます。

● **モードスイッチを 🎥 に合わせる**

1 ENTER ボタンを押して、画面に操作アイコンを表示する

- ▼ を押すごとにページが切り換わります。
- ENTER ボタンを押すと操作アイコンが表示 / 非表示されます。



2 （例：逆光補正）

カーソルボタンで操作アイコンを選択する



- 解除するには、もう一度操作アイコンを選択してください。
  以下の撮影機能の解除方法については、それぞれのページをお読みください。
  – ヘルプモード（P37）
  – 撮影ガイドライン（P37）
- 操作アイコンを設定すると画面にアイコンが表示されます。

操作アイコン一覧

アイコン	機能	アイコン	機能
[フェード]	フェード	[テレマクロ]	テレマクロ※1
[逆光補正]	逆光補正	P.REC	PRE-REC ※1
ガイド	ヘルプモード※1	[カラーナイトビュー]	カラーナイトビュー※1、2
[撮影ガイドライン]	撮影ガイドライン	[コントラスト視覚補正]	コントラスト視覚補正※2

※ 1．撮影中は表示されません。
※ 2．インテリジェントオートモード時は表示されません。

- 逆光補正、テレマクロ、PRE-REC、カラーナイトビューは電源を切るかモードスイッチを ▶ に合わせると解除されます。フェードは電源を切ると解除されます。
- メニューから設定することもできます。（ヘルプモードを除く）

フェード　ビデオ

撮影を開始すると映像と音声が数秒かけて徐々に現れ（フェードイン）、撮影を一時停止すると、映像と音声が数秒かけて徐々に消えます（フェードアウト）。

（フェードイン）



（フェードアウト）



- 記録が停止すると、フェード設定が解除されます。

■ フェードする色を選択するには（白または黒）

MENU：「撮影設定」→「フェード色」→「白」または「黒」

お知らせ

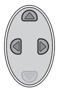
- フェードインで撮影した映像は、再生時のサムネイル表示が白一色（または黒一色）になります。

逆光補正　ビデオ　写真

逆光で被写体の後ろ側から光が当たって暗くなるのを防ぐため、画面の映像を明るくします。

ガイド　ヘルプモード　ビデオ　写真

カーソルボタンで知りたい機能の操作アイコンを選択すると、選択した操作アイコンの説明を画面に表示します。





【ヘルプモードを終了するには】
MENU ボタンを押す、または「終了」を選択する

お知らせ

- ヘルプモード中は撮影や機能設定ができません。

撮影ガイドライン　ビデオ　写真

映像が水平になっているか確認できます。構図のバランスを見る目安にもなります。
アイコンを選択するごとに切り換わります。
（水平）→（格子 1）→（格子 2）→設定解除

- ガイドラインは実際に記録される映像には影響しません。

テレマクロ　ビデオ　写真

被写体のみにクローズアップしてピントを合わせ、背景をぼかすことで、より印象的な映像にします。

- 約 70 cm まで近づいて撮影できます。
- ズーム倍率が 42 倍以下のときにテレマクロを設定すると、自動的に 42 倍になります。

お知らせ

- ズーム倍率を 42 倍未満にすると、自動的に解除されます。

P.REC　PRE-REC（プリレック）　ビデオ

撮影開始 / 一時停止ボタンを押す約 3 秒前からの映像や音声を記録します。

- PRE-REC が画面に表示されます。

お知らせ

- **事前に本機を被写体に向けて構えてください。**
- お知らせ音は鳴りません。
- 以下の場合には、PRE-REC が解除されます。
  - モードスイッチを切り換える
  - 「メディア選択」を「ビデオ / カード」に設定しているときに、SD カードを抜く
  - MENU ボタンを押す
  - 電源を切る
  - 撮影を開始する
  - 3 時間経過する
- PRE-REC を設定してから約 3 秒以内に撮影を開始した場合は、3 秒前からの映像は記録できません。
- 再生時のサムネイル表示の画像は、再生開始の映像と異なります。

カラーナイトビュー　ビデオ　写真

暗い場所（最低照度：約 1 lx）でも、カラーで明るく浮かび上がらせて撮影できます。

お知らせ

- **撮影した映像はコマ落としのようになります。**
- 明るい場所で設定すると、しばらくの間画面が白くなることがあります。
- 通常では見えない微小な輝点が見えることがありますが、異常ではありません。
- 三脚の使用をお勧めします。
- オートフォーカス時、暗い場所ではピントを合わせるまでに時間がかかります。

コントラスト視覚補正　ビデオ　写真

暗くて見えにくい部分を明るくするのと同時に、明るい部分の白飛びを抑えることで、暗いところも明るいところもきれいに撮れます。

お知らせ

- 極端に暗い部分や明るい部分があるとき、または明るさが不十分なときは、効果がわかりにくい場合があります。

メニュー設定して撮影機能を使う

● モードスイッチを 🎥 に合わせる

シーンモード

ビデオ　写真

撮りたい場面に合わせて、自動でシャッター速度や絞りが調整されます。

MENU：「撮影設定」→「シーンモード」→希望の設定

切	：設定を解除します。
（スポーツ）	：動きの速い場面を、スロー再生や再生の一時停止で、ブレの少ない映像に
（人物）	：背景をぼかして、手前の人物を引き立たせる
（美肌）	：肌の色をソフトに見せ、よりきれいに
（スポットライト）	：スポットライトが当たる人物をきれいに
（雪）	：スキー場などまぶしい場面で
（ビーチ）	：海や空などの青色をより鮮やかに
（夕焼け）	：日の出や夕焼けなどの赤色を鮮やかに
（風景）	：広がりのある風景に
（花火）	：夜空に打ち上げられる花火をきれいに
（夜景）	：夕暮れや夜景をきれいに
（ローライト）	：夕暮れなど、暗い場面で

お知らせ

- **（夕焼け / ローライトモード時）**
  - シャッター速度が 1/30 ～になります。
- **（夕焼け / 風景 / 花火 / 夜景モード時）**
  - 近くのものを撮る場合、映像がぼやけることがあります。
- **（スポーツモード時）**
  - 通常の再生では、画面の変わり方が滑らかには見えません。
  - 屋内での照明下では色合いや画面の明るさが変わることがあります。
  - 明るさが足りない場合はスポーツモードが働きません。このときは、 が点滅します。
- **（人物モード時）**
  - 屋内での照明下では色合いや画面の明るさが変わることがあります。
- **（美肌モード時）**
  - 背景などに肌色に近い色をした箇所があると、その部分も同時に滑らかになります。
  - 明るさが不十分なときは、効果がわかりにくい場合があります。
  - 人物を小さく撮影すると顔がぼけて映る場合があります。そのときは美肌モードを解除するか、顔を大きく（アップで）撮影してください。
- **（花火モード時）**
  - シャッター速度が 1/30 になります。
  - 明るい場面で撮ると、映像が白っぽくなることがあります。
- **（夜景モード時）**
  - 三脚の使用をお勧めします。

ズームモード

ビデオ　写真

最大ズーム倍率を設定します。

MENU：「撮影設定」→「ズームモード」→希望の倍率

iA ズーム切	：最大 42 倍までズーム
iA ズーム 72×	：HD 画質の美しさを維持したズーム（最大 72 倍まで）
D. ズーム 100×	：デジタルズーム（最大 100 倍まで）
D. ズーム 400×	：デジタルズーム（最大 400 倍まで）

お知らせ

- デジタルズーム時は、ズーム倍率を大きくするほど画質は粗くなります。

記録方式

ビデオ

ビデオの記録方式を切り換えます。

MENU：「撮影設定」→「記録方式」→希望の設定

「AVCHD」/「iFrame」※1/「MP4」※2

※ 1.「iFrame」はMac（iMovie '11）に適した記録方式です。Macをお使いの方にお勧めします。
※ 2.「MP4」はパソコンでの再生や編集に適した記録方式です。

お知らせ

- お買い上げ時の設定は「AVCHD」です。

記録モード

ビデオ

AVCHD で記録するビデオの画質と記録方式を切り換えます。

- **「記録方式」を「AVCHD」にする**

MENU：「撮影設定」→「記録モード」→希望の画質

「1080/60p」※1	：記録方式を 1080/60p に設定します。
「HA」/「HG」/「HE」※2	：記録方式を 1080/60i に設定します。

※ 1. 本機における最高画質 1080/60p(1920×1080/60 プログレッシブ)で撮影できます。
※ 2.「HA」、「HG」、「HE」の順に高画質で撮影できます。

本機で記録したシーンを再生できる当社製テレビやブルーレイディスクレコーダーなどの最新情報は、下記サポートサイトでご確認ください。（2012 年 12 月現在）
http://panasonic.jp/support/video/connect/

お知らせ

- **バッテリーを使って撮影できる時間について（P12）**
- お買い上げ時の設定は「HG」です。
- 記録可能時間の目安については 108 ページをお読みください。
- 本機を大きくまたは速く動かしたり、動きの激しい被写体を撮影したとき（特に記録方式「MP4」や記録モード「HE」での撮影時）は、再生時にモザイク状のノイズが出る場合があります。

リレー記録

ビデオ

ビデオ撮影中に、内蔵メモリーの容量がなくなった場合でも、SD カードへ続けて記録することができます。（内蔵メモリーから SD カードへのみリレー記録できます）

- **記録するメディアを内蔵メモリーに設定する（P18）**
- **「記録方式」を「AVCHD」にする（P40）**
- **SD カードを入れる**

MENU **:「撮影設定」→「リレー記録」→「入」**

- ⇨ が画面に表示されます。内蔵メモリーの容量がなくなり、SD カードに記録が始まると⇨ が消えます。
- リレー記録は 1 回のみ可能です。
- **リレー記録したシーンは、「リレーシーンまとめ」で SD カードにまとめてください。(P59、64)**
- 「リレーシーンまとめ」をすると、リレー記録が再度できるようになります。「リレーシーンまとめ」をせずに「リレー記録」を「入」にするとメッセージが表示されます。「はい」を選択するとリレー記録できるようになりますが、リレーシーンまとめはできなくなります。

お知らせ

- リレー記録後は、写真も SD カードに記録されます。
- 内蔵メモリーのリレー記録されたシーンには再生時のサムネイル表示に ⇨ が表示されます。

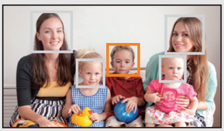
顔検出枠表示

ビデオ 写真

検出された顔を枠で表示します。

MENU **:「撮影設定」→「顔検出枠表示」→希望の設定**

優先顔枠表示	：優先顔枠のみ表示します。
全表示	：顔検出枠をすべて表示します。
切	：設定を解除します。



- 検出する枠は最大 15 個で、大きいもの、画面の中心に近いものが優先されます。

■ 優先顔枠について

優先顔枠は、オレンジ色の枠で表示します。優先顔枠にピントを合わせて、明るさを調整します。

- 優先顔枠は、インテリジェントオートモードの人物モード時のみ表示します。
- 白色の枠は、顔検出のみしています。

応用・撮影

うっかり撮り防止　ビデオ

ビデオ撮影中に、本機が水平方向から逆さまや横倒しになると、自動的に撮影を一時停止します。

MENU：「撮影設定」→「うっかり撮り防止」→「入」

お知らせ

- 真上や真下を撮影すると、撮影が一時停止することがあります。

オートスローシャッター　ビデオ　写真

暗い場所でシャッター速度を遅くすることによって、明るく撮ることができます。

- **マニュアルモードにする（P44）**

MENU：「撮影設定」→「オートスローシャッター」→「入」

- シャッター速度が周囲の明るさに応じて 1/30 〜になります。

お知らせ

- シャッター速度が 1/30 になったときは、画面がコマ落としのようになったり、残像が出る場合があります。

撮影アシスト　ビデオ

本機を速く動かした場合にメッセージが表示されます。

MENU：「撮影設定」→「撮影アシスト」→「入」

「カメラの動きが速すぎます。」と表示されたときは、本機をゆっくりと動かして撮影してください。

お知らせ

- メッセージは撮影の一時停止中には表示されません。（「デモモード」が「入」の場合は、撮影の一時停止中にもメッセージが表示されます）

風音低減　ビデオ

内蔵マイクに当たる風音ノイズを低減します。

- **マニュアルモードにする（P44）**

MENU：「撮影設定」→「風音低減」→「入」

お知らせ

- お買い上げ時の設定は「入」です。
- インテリジェントオートモード時は「入」になり設定は変更できません。
- 撮影状況によっては十分な効果が得られない場合があります。

記録画素数

写真

記録画素数が大きいほど、プリント時に鮮明な画像になります。

MENU：「写真設定」→「記録画素数」→希望の画素数

記録画素数		画像横縦比
10M	4224×2376	16:9
2.1M	1920×1080	

お知らせ

- お買い上げ時の設定は、10M です。
- 記録画素数によって記録にかかる時間が長くなります。
- 写真の記録可能枚数については 109 ページをお読みください。

シャッター音

写真

写真撮影時にシャッター音が出ます。

MENU：「写真設定」→「シャッター音」→希望の設定

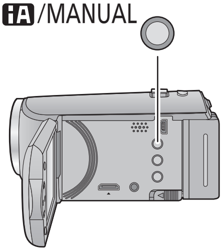
- ♪)：音量小
- ♪))：音量大
- 切：なし

マニュアルで撮る ビデオ 写真

● モードスイッチを 🎥 に合わせる

インテリジェントオート / マニュアルボタンを押してマニュアルモードにする

● MNL が画面に表示されます。







WB ホワイトバランス（P45）
SHTR シャッター速度（P46）
IRIS アイリス（絞り・ゲイン）（P46）
MF マニュアルフォーカス（P47）

● ENTER ボタンを押すと、マニュアルアイコンが表示 / 非表示されます。
● ▼ を押すごとにページが切り換わります。

ホワイトバランス設定

光源などによって、色合いが自然でないときに、手動で設定してください。

● インテリジェントオート / マニュアルボタンを押してマニュアルモードにする（P44）

1 カーソルボタンで「WB」を選択する

2 ◀/▶ を押して、ホワイトバランスのモードを選択する



モード	撮影条件
AWB（オート）	—
（晴れ）	屋外の晴天下
（曇り）	屋外の曇り空の下
（屋内 1）	白熱電球やスタジオ等のビデオライトなど
（屋内 2）	電球色蛍光灯や体育館等のナトリウムランプなど
（蛍光灯）	当社のパルック蛍光灯など
（セット）	● 水銀灯、ナトリウム灯、一部の蛍光灯 ● ホテルの結婚式場のライトや劇場のスポットライト ● 日没・日の出など

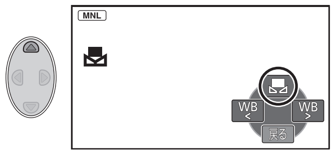
● 自動設定に戻すには AWB を選択する、またはインテリジェントオート / マニュアルボタンを押してください。

■ 手動でホワイトバランスの設定をするには

1） ◀/▶ を押して （セットモード）を選択し、画面いっぱいに白い被写体を映す

2） ▲ を押して設定する

- 画面が一瞬黒くなり、 表示が点滅から点灯に変わると、設定完了です。
- が点滅し続ける場合は、セットモードでの設定ができません。このときは、他のモードを使ってください。



お知らせ

- レンズカバーを閉じたまま電源を入れると、オートホワイトバランスが正しく合いません。必ずレンズカバーを開けてから電源を入れてください。
- が点滅している場合は、以前にセットモードで設定した内容が保持されています。撮影条件が変わった場合は、設定し直してください。
- ホワイトバランスとアイリスの両方を設定するときは、ホワイトバランスを設定したあとに、アイリスを設定してください。
- AWB 設定後は画面に AWB は表示されません。

シャッター速度 / アイリス（絞り・ゲイン）調整

シャッター速度：
動きの速いものを撮るときなどに調整してください。

アイリス（絞り・ゲイン）：
暗すぎる（明るすぎる）場面で撮るときなどに調整してください。

● **インテリジェントオート / マニュアルボタンを押してマニュアルモードにする（P44）**

1 カーソルボタンで「SHTR」または「IRIS」を選択する

2 ◀/▶ を押して、調整する

1/100	：シャッター速度
OPEN	：絞り値
0dB	：ゲイン値





＜シャッター速度の調整＞

1/60 ～ 1/8000

- 「オートスローシャッター」（P42）が「入」の場合、1/30 ～ 1/8000 になります。
- 1/8000 に近いほど、シャッター速度が速くなります。

＜アイリスの調整＞

CLOSE ↔ F16 … F2.0 ↔ OPEN ↔ 0dB … 18dB

暗くする ◀━━━━━━━━▶ **明るくする**

- 絞り開放（OPEN）より明るくするときは、ゲイン値の調整になります。
- 自動設定に戻すには、インテリジェントオート / マニュアルボタンを押してください。

■ 動きの速いものを撮影する場合のシャッター速度の目安

再生時に一時停止したときの残像が少なくなります。

撮影対象	シャッター速度
ゴルフやテニスのスイング	1/500 ～ 1/2000
ジェットコースター	1/500 ～ 1/1000

お知らせ

- シャッター速度とアイリスの両方を設定するときは、シャッター速度を設定したあとに、アイリスを設定してください。

シャッター速度：

- 明るく光っているものや反射の強いものは、周辺に光の帯が出ることがあります。
- 通常の再生では、画面の変わり方が滑らかに見えないことがあります。
- 極端に明るい被写体や屋内の照明下で撮影すると、色合いや画面の明るさが変わったり、画面に横帯が出たりすることがあります。この場合、インテリジェントオートモードで撮影するか、マニュアルでシャッター速度を 1/60 または 1/100 に調整してください。

アイリス：

- ゲイン値を上げると、画面にノイズが増えます。
- ズーム倍率によっては、表示されない絞り値（F 値）があります。

マニュアルフォーカスで撮る

自動でピントが合いにくいときに、手動で調整してください。

● **インテリジェントオート / マニュアルボタンを押してマニュアルモードにする（P44）**

1 （MF アシストを使う場合）

メニュー設定する

MENU ：「撮影設定」→「MF アシスト」→「入」

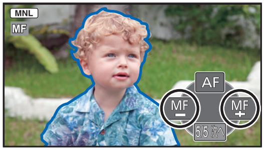
- ENTER ボタンを押して操作アイコンを表示し、▼ を押してマニュアルアイコンに切り換えてください。

2 カーソルボタンで「MF」を選択し、マニュアルフォーカスにする

- **MF** が画面に表示されます。

3 ◀/▶ を押して、ピントを調整する





MF+	：近くのものに合わせるとき
MF−	：遠くのものに合わせるとき

ピントの合っている部分が青色で表示されます。
ピント調整操作後の約 2 秒後に通常表示に戻ります。

- 「MF アシスト」を「切」にすると、青色表示されません。
- オートフォーカスに戻すには「AF」を選択する、またはインテリジェントオート / マニュアルボタンを押してください。

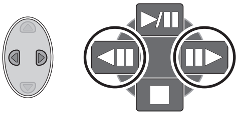
お知らせ

- 青色表示は実際に記録される映像には表示されません。

再生操作する

操作アイコンを使ってのビデオ再生操作 ビデオ

基本の再生操作については 23 ページをお読みください。

再生操作	カーソルボタン / 再生表示	操作手順
スロー再生	一時停止中 	**一時停止中にカーソルボタンの ▶ を押し続ける（◀ を押し続けると逆スロー再生）** 押し続けている間スロー再生します。 ● ▲ を押すと通常再生に戻ります。 ● 逆スロー再生は、通常の再生の約 2/3 倍速で連続コマ送り（0.5 秒間隔）されます。 ● iFrame や MP4 のシーンのスロー再生は、1 秒間隔になります。
コマ送り再生		**一時停止中にカーソルボタンの ▶ を押す（◀ を押すと逆コマ送り再生）** ● ▲ を押すと通常再生に戻ります。 ● 逆コマ送り再生は、0.5 秒間隔のコマ送りになります。 ● iFrame や MP4 のシーンのコマ送り再生は、1 秒間隔になります。

ビデオから写真を作成する ビデオ

記録済みのビデオの 1 コマを写真として保存できます。
AVCHD と iFrame のシーンは 2.1M（1920×1080）の写真が、MP4 のシーンは 0.2M（640×360）の写真が記録されます。

再生中に写真として記録したい場面でフォトショットボタンを押す

- 一時停止やスロー再生、コマ送り再生を使うと便利です。
- ビデオが撮影された日時が写真の日時として登録されます。
- 通常の写真撮影時と画質が異なります。

繰り返し再生 ビデオ

最後のシーンの再生終了後に、最初のシーンの再生を開始します。

MENU：「ビデオの管理」→「リピート再生」→「入」

全画面表示に が表示されます。

- SD カードまたは内蔵メモリー内のすべてのシーンが繰り返し再生されます。
（日付別再生のときは、選択されている日付のすべてのシーンが繰り返し再生されます）

前回の続きから再生 ビデオ

途中で停止したシーンをもう一度再生すると、続きからの再生を開始します。

MENU：「ビデオの管理」→「続きから再生」→「入」

再生を停止すると、続きから再生が設定されたシーンのサムネイルに が表示されます。

お知らせ

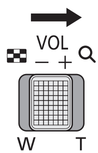
- 続きから再生の開始位置は、電源を切るかモードスイッチを切り換えると解除されます。
（「続きから再生」の設定は「切」になりません）

再生中の写真を拡大する（再生ズーム） 写真

再生中の写真を拡大表示することができます。

1 ズームレバーを 側に操作する

- 最大 4 倍まで拡大表示されます。（1 倍→ 2 倍→ 4 倍）



2 カーソルボタンで拡大部分の位置を移動する

- 拡大（縮小）時、または表示する位置を移動したときは、約 1 秒間ズーム位置が表示されます。



【拡大表示した写真を縮小するには】

ズームレバーを 側に操作すると、縮小表示されます。（4 倍→ 2 倍→ 1 倍）

お知らせ

- 拡大するほど、画質は粗くなります。

応用・再生

いろいろな再生機能

日付別に再生 ビデオ 写真

同じ日に撮影されたシーンまたは写真のみを続けて再生します。

1 カーソルボタンで日付選択を選択し、ENTER ボタンを押す



2 再生したい日付を選択し、ENTER ボタンを押す

同じ日に撮影されたシーンまたは写真のみがサムネイル表示されます。

3 再生を始めたいシーンまたは写真を選択し、ENTER ボタンを押す

お知らせ

- 電源を切るかモードスイッチを切り換えると全シーン再生に戻ります。
- 以下の場合などには、日付別一覧で分かれて表示され、日付のあとに -1、-2 が追加されることがあります。
  - シーン数が 99 を超えたとき
  - 写真の記録枚数が 999 枚を超えたとき
  - 記録モードを切り換えたとき
  - 番号リセットをしたとき
- ビデオから作成した写真（P48）では、日付別一覧で日付の後ろに [アイコン] が表示されます。

ムービースライドショー ビデオ

複数のシーンから、きれいに撮影したと判断した部分を抜き出し、映像効果や音楽を付け加えて、短時間で再生することができます。

● iFrame や MP4 のシーンのムービースライドショーはできません。

1 カーソルボタンで を選択し、ENTER ボタンを押す



2 （設定を変更したい場合のみ）
項目を選択し、ENTER ボタンを押す

シーン設定	：再生したいシーンまたは日付を選択します。
優先設定	：優先して再生する対象を選択します。（P52）
再生時間設定	：再生する時間を選択します。（P52）
効果設定	：再生時の映像効果を選択します。（P52）
音楽設定	：再生時の音楽を選択します。（P52）

3 「再生開始」を選択し、ENTER ボタンを押す

● 手順 2 の「シーン設定」を変更しない場合は、最後に記録された日付で再生されます。

4 再生操作する（P24）

● 再生が終了する、または再生を停止すると、「もう一度再生する」、「設定しなおす」、「終了する」を選択する画面が表示されます。お好みの項目を選択し、ENTER ボタンを押してください。

お知らせ

● 電源を切るかモードスイッチを切り換えると、全シーン再生に戻ります。
● スロー再生、コマ送り再生はできません。

■ シーン設定

1）（「ALL AVCHD」からムービースライドショーをした場合のみ）
カーソルボタンで再生したいシーンの記録方式を選択し、ENTER ボタンを押す

「1080/60p」/「1080/60i」

2）**「日付選択」または「シーン選択」を選択し、ENTER ボタンを押す**

3）（「日付選択」を選んだ場合）
再生したい日付を選択し、ENTER ボタンを押す

● 最大 7 日まで選択できます。
● 選択された日付は赤色で囲まれます。解除するにはもう一度ENTERボタンを押してください。

（「シーン選択」を選んだ場合）
再生したいシーンを選択し、ENTER ボタンを押す

● 最大 99 シーンまで続けて選択できます。
● 選択されたシーンは√が表示されます。解除するにはもう一度ENTERボタンを押してください。

4）**「決定」を選択し、ENTER ボタンを押す**

■ 優先設定

カーソルボタンで「なし」または「顔認識」を選択し、ENTER ボタンを押す

- 「顔認識」を選択すると、顔検出した部分が優先されます。

■ 再生時間設定

カーソルボタンで再生時間を選択し、ENTER ボタンを押す

「約 1 分 30 秒」/「約 3 分」/「おまかせ」

- 「おまかせ」の再生時間は最大約 5 分です。
- きれいに撮影されたと判断された部分が短い場合、再生時間が設定より短くなったり、再生されない場合があります。

■ 効果設定

フェード、スロー、スチル（一時停止）や、ダイジェスト再生などの映像効果が入ります。

カーソルボタンでお好みの効果を選択し、ENTER ボタンを押す

ポップ	：子どもが遊ぶなどの楽しいシーンにお勧めです。
クラシカル	：発表会などのシーンにお勧めです。
ナチュラル	：風景が含まれるシーンなどにお勧めです。
ダイナミック	：スポーツなど動きのあるシーンにお勧めです。
効果なし	：映像効果は入りません。

- 「効果設定」を変更すると、「音楽設定」は「効果設定」と同じ設定になります。
（「効果設定」と「音楽設定」を異なる設定にしたい場合は、「効果設定」をしてから「音楽設定」を変更してください）

■ 音楽設定

カーソルボタンでお好みの音楽を選択し、ENTER ボタンを押す

- 「効果設定」を「効果なし」に設定すると、「音楽なし」を選択できます。「音楽なし」を選択した場合は、撮影時の音声を再生します。

スライドショーの設定をして再生する 写真

1 **カーソルボタンで を選択し、ENTER ボタンを押す**



2 （設定を変更したい場合のみ）

項目を選択し、ENTER ボタンを押す

日付設定	：再生したい日付を選択します。
スライドショー間隔	：再生時の表示間隔を選択します。
音楽設定	：再生時の音楽を選択します。

3 （「日付設定」を選んだ場合）

再生したい日付を選択し、ENTER ボタンを押す

（「スライドショー間隔」を選んだ場合）

項目を選択し、ENTER ボタンを押す

短い：約 1 秒
普通：約 5 秒
長い：約 15 秒

（「音楽設定」を選んだ場合）

お好みの音楽を選択し、ENTER ボタンを押す



4 **「再生開始」を選択し、ENTER ボタンを押す**

5 **再生操作する（P24）**

- 再生が終了する、または再生を停止すると、「もう一度再生する」、「設定しなおす」、「終了する」を選択する画面が表示されます。お好みの項目を選択し、ENTER ボタンを押してください。

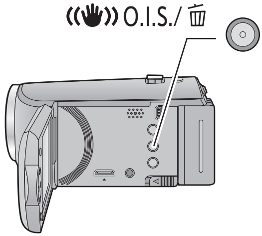
消去

消去したシーン / 写真は元に戻りませんので、記録内容を十分に確認してから消去の操作を行ってください。

● モードスイッチを ▶ に合わせる

■ 再生中のシーンまたは写真を消去するには

消去したいシーン、または写真を再生中に手ブレ補正 / 消去ボタンを押す



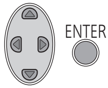
■ サムネイル表示からシーンまたは写真を消去するには

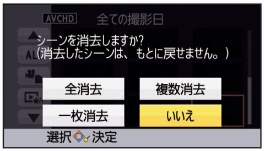
● 消去したいシーンまたは写真のサムネイル表示に切り換える（P23）

1 サムネイル表示で手ブレ補正 / 消去ボタンを押す

- サムネイル表示が 1 シーン表示の場合は、表示中のシーンまたは写真が消去されます。

2 カーソルボタンで「全消去」、「複数消去」または「一枚消去」を選択し、ENTER ボタンを押す





- 「全消去」を選択すると、サムネイル表示されているすべてのシーン、または写真が消去されます。
  （日付別に再生しているときは、選択している日付のすべてのシーンまたは写真が消去されます）
- プロテクト設定されたシーンまたは写真は消去されません。

3 （手順 2 で「複数消去」を選んだ場合）

消去するシーンまたは写真を選択し、ENTER ボタンを押す

- シーンまたは写真が選択され、🗑 が表示されます。解除するにはもう一度 ENTER ボタンを押してください。
- 最大 99 シーンまで続けて選択できます。

（手順 2 で「一枚消去」を選んだ場合）

消去するシーンまたは写真を選択し、ENTER ボタンを押す

4 （手順 2 で「複数消去」を選んだ場合）

「消去」を選択し、ENTER ボタンを押す、または手ブレ補正 / 消去ボタンを押す

- 他のシーンまたは写真も続けて消去するには、手順 3 〜 4 を繰り返してください。

【消去を途中でやめるには】

消去中に MENU ボタンを押す

- 途中まで消去されたシーン / 写真は元に戻りません。

【消去を終了するには】

MENU ボタンを押す

お知らせ

- メニューからも消去できます。
  シーンの消去：「シーン編集」→「消去」→「全消去」、「複数消去」または「一枚消去」
  写真の消去　：「写真の管理」→「消去」→「全消去」、「複数消去」または「一枚消去」
- ムービースライドショーをしているときは消去できません。
- 再生できないシーン（サムネイル表示が ！ ）は消去できません。
- 「全消去」の場合、シーンまたは写真が多数あると消去に時間がかかることがあります。
- 他の機器で記録したシーンやDCF規格に準拠した写真を本機で消去すると、関連するデータもすべて消去される場合があります。
- 他の機器で SD カードに記録した写真を消去する場合は、本機で再生できない写真（JPEG 以外のファイル）でも消去されることがあります。

シーンの分割（AVCHD） ビデオ

AVCHD のシーンを分割することができます。
シーンに不要な部分がある場合は、分割したあとに消去することもできます。

- **モードスイッチを ▶ に合わせ、プレイモード選択アイコンを選択して、AVCHD のシーンを選択する（P23）**

1 メニュー設定する

MENU：「シーン編集」→「分割」→「設定」

2 カーソルボタンで分割したいシーンを選択し、ENTER ボタンを押す

3 ✂ を選択し、分割点を設定する



- スロー再生やコマ送り再生にすると便利です。（P48）
- 同じシーンを分割する場合は「はい」を、別のシーンを分割する場合は「いいえ」を選択して手順 2 ～ 3 を繰り返してください。

4 MENUボタンを押して分割を終了する

- 不要な部分は消去することができます。（P54）

【分割をすべて解除するには】

MENU：「シーン編集」→「分割」→「全て解除」

- 分割後に消去したシーンは元に戻すことはできません。

お知らせ

- 1 つの日付別のシーンが 99 に達した場合は分割できません。
- 記録時間が短いシーンは分割できない場合があります。
- 他の機器で記録や編集したデータは、分割または分割の解除はできません。

シーンの分割消去（iFrame、MP4） ビデオ

iFrame や MP4 のシーンを分割して、不要な部分を消去します。
シーンを 2 つに分割し、分割点より前または後ろの部分を消去します。
分割消去したシーンは、元に戻すことはできません。

- **モードスイッチを ▶ に合わせ、プレイモード選択アイコンを選択して、「iFrame」または「MP4」にする（P23）**

1 メニュー設定する

MENU：「シーン編集」→「分割消去」

2 カーソルボタンで分割したいシーンを選択し、ENTER ボタンを押す

3 ✂ を選択し、分割点を設定する

- スロー再生やコマ送り再生にすると便利です。（P48）
- 分割点は消去する部分が 2 秒以上、残す部分が 3 秒以上になるように設定してください。





4 消去する部分を選択し、ENTER ボタンを押す

5 「はい」を選択し、ENTER ボタンを押して消去する部分を確認（再生）する

- 「いいえ」を選択した場合は、確認のメッセージが表示されます。手順 7 に進んでください。

6 再生を停止する

- 確認のメッセージが表示されます。

7 「はい」を選択し、ENTER ボタンを押す

- 別のシーンも続けて分割消去するには手順 2 ～ 7 を繰り返してください。

【分割消去を終了するには】
MENU ボタンを押す

お知らせ

- 記録時間が短いシーンは分割できない場合があります。
- 実際の分割点は、指定した部分から僅かにずれる場合があります。

プロテクト ビデオ 写真

誤って消去しないように、プロテクト設定できます。**(プロテクトしていても、SD カードまたは内蔵メモリーをフォーマットした場合は消去されます)**

- **モードスイッチを ▶ に合わせる**

1 メニュー設定する

MENU :「ビデオの管理」または「写真の管理」→「シーンプロテクト」※

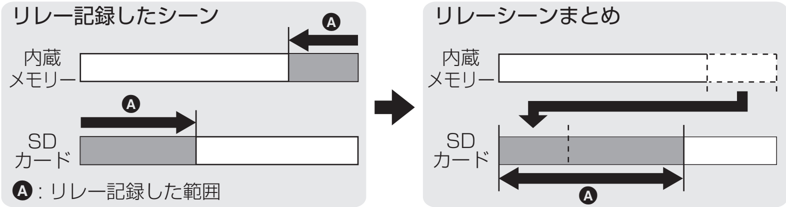
※ あらかじめパソコンで選択転送の設定をした Eye-Fi カードをご使用の場合は、「選択転送 / プロテクト」が表示されます。

2 カーソルボタンでプロテクトするシーンまたは写真を選択し、ENTER ボタンを押す

- シーンまたは写真が選択され、O‑π が表示されます。解除するにはもう一度 ENTER ボタンを押してください。
- MENU ボタンを押して設定を終了してください。

リレーシーンまとめ ビデオ

リレー記録（P41）で記録した内蔵メモリーのシーンと、続けて記録した SD カードのシーンを SD カードに 1 つにまとめることができます。



● モードスイッチを ▶ に合わせ、プレイモード選択アイコンを選択して、AVCHD のシーンを選択する（P23）

1 リレー記録した SD カードを入れる

2 メニュー設定する

MENU :「シーン編集」→「リレーシーンまとめ」

3 確認のメッセージが出たら、カーソルボタンで「はい」を選択し、ENTER ボタンを押す

- 内蔵メモリーのシーンは消去されます。（内蔵メモリーのシーンがプロテクト設定されている場合は消去されません）

4 リレーシーンまとめ完了のメッセージが出たら、MENU ボタンを押す

- SD カードのサムネイル画面が表示されます。
- リレーシーンをまとめると、リレー記録情報は消去され、再度リレー記録を設定することができます。
- リレー記録した内蔵メモリーまたは SD カードのシーンを消去すると、リレーシーンまとめをすることができません。

【リレー記録情報を解除するには】

MENU :「シーン編集」→「リレー情報解除」

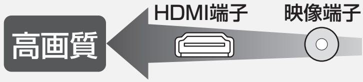
- リレー情報解除をすると、リレーシーンまとめができなくなります。

SD カードの空き容量が、内蔵メモリーのリレー記録したシーンの容量より少ない場合は、リレーシーンまとめができません。 HD Writer LE 2.0 で、リレーシーンをまとめることをお勧めします。

応用・再生

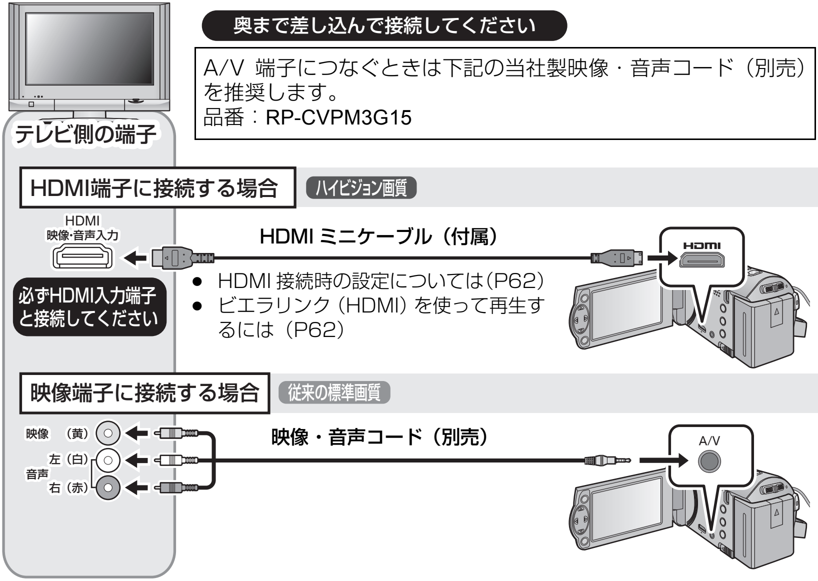
テレビにつないで見る ビデオ 写真

お使いのテレビの端子を確認して、端子に合った接続コードをお使いください。接続する端子によって画質が変わります。



- **付属の HDMI ミニケーブルをお使いください。**
- 本機を HDMI 対応のハイビジョンテレビと接続して再生すると、撮影したハイビジョン映像を高画質・高音質で楽しむことができます。

1 本機とテレビをつなぐ



2 テレビの入力切換を選ぶ

- 例：HDMI 端子に接続時「HDMI」、映像端子に接続時「ビデオ 2」（接続するテレビや端子によって入力表示名は変わります）
- テレビの入力設定（入力切換）、音声入力設定を確認してください。（詳しくは、テレビの説明書をお読みください）

3 本機を再生する

お知らせ

- 本機をテレビに接続すると、以下の場合はテレビに映像が表示されません。
  本機の液晶モニターでご確認ください。
  – ビデオ撮影中
  – PRE-REC 設定時

■ 画面の比率が 4:3 のテレビで映像を見る場合や画面の端が表示されない場合

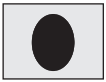
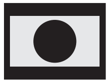
メニューの設定を変更すると、映像を正しく表示できるようになります。（テレビの設定を確認してください）

> MENU：「セットアップ」→「接続するテレビ」→「4:3」

- 「4:3」に設定し、本機とテレビを映像・音声コードでつなぐと、映像またはメニュー画面が縮小表示される場合があります。

横縦比 16:9 の映像を 4:3 テレビに映したときの例：

- ワイドテレビではテレビ側の画面モードで調整してください。詳しくは、テレビの説明書をお読みください。

「接続するテレビ」の設定	
16:9	4:3
	

■ テレビ画面に機能表示などを表示するには

メニューの設定を変更すると、本機の画面に表示されている情報（操作アイコン、カウンター表示など）をテレビ画面に表示 / 非表示することができます。

> MENU：「セットアップ」→「外部表示」→希望の表示

簡易※	：一部の情報を表示
詳細	：すべての情報を表示
切	：非表示

※ 撮影モード時のみ設定できます。

当社製テレビの SD カードスロットに、本機で記録した SD カードを直接入れて再生することができます。（2012 年 12 月現在）

- 記録方式や記録モードによっては再生できない場合があります。

本機で撮影した SD カードを直接入れて再生できるテレビについての最新情報は、下記サポートサイトでご確認ください。

http://panasonic.jp/support/video/connect/

- 再生操作方法など、詳しくはテレビの取扱説明書をお読みください。

HDMI ミニケーブルで接続時の設定

HDMI 出力の映像方式を切り換えます。

MENU：「セットアップ」→「HDMI 出力解像度」→「オート」/「1080p」/「1080i」/「480p」

- 「オート」は接続したテレビからの情報をもとに、自動的に出力解像度を決定します。「オート」に設定していて映像がテレビに出ないときは、「1080p」、「1080i」または「480p」に切り換えて、お使いのテレビが表示できる映像方式に合わせてください。（テレビの説明書もお読みください）
- シーンの切り換わりなどで数秒間映像がテレビに表示されないことがあります。

ビエラリンク(HDMI)を使って テレビで再生する ビデオ 写真

ビエラリンク（HDMI）（HDAVI Control™）とは

- 本機と HDMI ミニケーブル（付属）を使って接続したビエラリンク対応機器を自動的に連動させて、ビエラのリモコンで簡単に操作できる機能です。（すべての操作ができるものではありません）
- ビエラリンク（HDMI）は HDMI CEC (Consumer Electronics Control) と呼ばれる業界標準の HDMI によるコントロール機能をベースに、当社独自機能を追加したものです。他社製 HDMI CEC 対応機器との動作保証はしておりません。ビエラリンク（HDMI）に対応した他社製品については、その製品の取扱説明書をご確認ください。
- 本機は、ビエラリンク（HDMI）Ver.5 に対応しています。ビエラリンク（HDMI）Ver.5 とは、従来の当社製ビエラリンク機器にも対応した当社基準です。

● **モードスイッチを ▶ に合わせる**

1 メニュー設定する

MENU：「セットアップ」→「ビエラリンク」→「入」

- ビエラリンク（HDMI）を使用しない場合は、本機の設定を「切」にしてください。

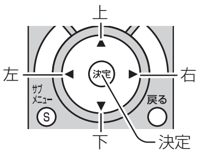
2 HDMI ミニケーブルで、本機とビエラリンク（HDMI）に対応した当社製テレビ（ビエラ）をつなぐ（P60）

- テレビに２つ以上のHDMI 入力端子がある場合は、本機をHDMI1 以外に接続することをお勧めします。
- 接続したテレビ側のビエラリンク（HDMI）が働くように設定しておいてください。（設定方法などはテレビの取扱説明書をお読みください）

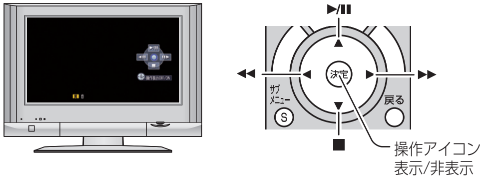
3 テレビのリモコンで再生操作する

- 上下左右ボタンと決定ボタンを押して、再生するシーンや写真の選択や再生操作することができます。

（シーン選択時）



（再生時）



- カラーボタンを押すと以下の操作ができます。

緑	● サムネイル表示枚数の切り換え（9 枚→ 20 枚→ 9 枚…） ● 写真の拡大表示
黄	● シーン / 写真の消去
赤	● 写真の縮小表示

■ その他の連動操作について

電源 OFF

テレビのリモコンを使ってテレビの電源を切ると、本機の電源も連動して切れます。

自動入力切換

HDMI ミニケーブルで接続して本機の電源を入れると、テレビの入力切換を自動で本機の画面に切り換えます。また、テレビの電源が待機状態のときは自動で電源が入ります。（テレビの「電源オン連動」を「する」に設定している場合）

- テレビの HDMI 端子によっては、入力切換が自動で切り換わらない場合があります。そのときはテレビのリモコンを使って入力切換してください。

お知らせ

- お使いのテレビや AV アンプがビエラリンク（HDMI）対応かわからないときは、接続した当社製機器にビエラリンク（HDMI）のロゴマークが付いているかご確認いただくか、それぞれの取扱説明書をお読みください。
- HDMI 規格に準拠していないケーブルでは動作しません。

VIERA Link

SD カード / 内蔵メモリー間で コピーする ビデオ 写真

本機で記録したビデオ / 写真を、本機に入れた SD カードと内蔵メモリーの間でコピーすることができます。

■ コピー先の使用領域を確認する

「メディア情報表示」(P32) で SD カードや内蔵メモリーの使用領域を確認できます。

- SDカードや内蔵メモリーの記録状態により、空き容量のすべてを使用できない場合があります。
- 1枚のSDカードで空き容量が足りない場合は、画面の指示に従って2枚以上のカードにコピーすることができます。この場合、最後にコピーされるシーンはカードの容量に収まるように自動的に分割されます。
- シーンを分割 (P56) して、シーン選択でコピーすると、SD カードや内蔵メモリーの容量に合わせてコピーしたり、必要な箇所のみをコピーすることができます。

コピーする

- SDカードに空き容量がほとんどない場合は、SDカードのすべてのデータを消去してコピーするかどうかの確認メッセージが出ます。消去されたデータは元に戻すことができませんので、お気をつけください。
- コピーにかかる時間の目安は 65 ページをお読みください。

1 モードスイッチを ▶ に合わせる

- 十分に充電されたバッテリーまたは AC アダプターを使用してください。

2 メニュー設定する

MENU :「コピー」

「SD → 内蔵」 :SD カードから内蔵メモリーにコピーする

「SD → HDD」※:SD カードから USB ハードディスクにコピーする

「内蔵 → SD」 :内蔵メモリーから SD カードにコピーする

「内蔵 → HDD」※:内蔵メモリーから USB ハードディスクにコピーする

※ USB ハードディスク接続時のみ表示されます。(P66)

- リレー記録したシーンがある場合は、メッセージが表示されます。カーソルボタンで「はい」を選択し ENTER ボタンを押して、リレー記録をしたシーンを SD カードにまとめてからコピーしてください。(P59)

3 画面表示に従い、カーソルボタンで希望の項目を選択し、ENTER ボタンを押す

- ⮌ を選択し、ENTER ボタンを押すと、1 つ前の手順に戻ります。
- （シーン選択時）
  ENTER ボタンを押すとシーンが選択され、☑ が表示されます。解除するにはもう一度 ENTER ボタンを押してください。
- （日付選択時）
  ENTER ボタンを押すと日付が選択され、赤色で囲まれます。解除するにはもう一度 ENTER ボタンを押してください。

- 最大 99 シーン /99 日付まで続けて選択できます。
- コピーに必要な SD カードが 2 枚以上のときは、画面の指示に従ってカードを交換してください。

4 コピー完了のメッセージが出たら、MENU ボタンを押す

- コピー先のサムネイル画面が表示されます。

【コピーを途中でやめるには】
コピー中に MENU ボタンを押す

コピー時間の目安

4 GB の容量いっぱいにビデオをコピーした場合：
約 5 分〜約 15 分

約 600 MB の写真（記録画素数 10M）をコピーした場合：
約 5 分〜約 15 分

お知らせ

コピー終了後にビデオや写真を消去する場合は、消去する前に必ずコピーされたビデオや写真を再生して、正常にコピーされていることを確認してください。

- 以下の場合コピーにかかる時間が長くなることがあります。
  – シーン数が多い
  – 本機の温度が高い
- コピー先に記録したビデオや写真がある場合、同一日付になったり、日付別一覧選択時に日付順に表示されない場合があります。
- 他の機器で記録したビデオはコピーできない場合があります。HD Writer LE 2.0 などを使ってパソコンで記録したデータはコピーできません。
- プロテクト設定したビデオや写真をコピーすると、コピーされたビデオや写真の設定は解除されます。
- コピーするビデオまたは写真の順番は変更できません。

USB ハードディスクで コピー / 再生する ビデオ 写真

USB ハードディスク（市販）と本機を、USB 接続ケーブル（USB ハードディスクに付属）でつなぐと、本機で記録したビデオや写真を USB ハードディスクにコピーすることができます。また、USB ハードディスクにコピーしたビデオや写真を再生することもできます。

- 本機で記録したシーンや写真をそのままの画質でコピーできます。
- USBハードディスクの使用方法は、お使いのUSBハードディスクの説明書をお読みください。

コピー / 再生の準備をする

当社で推奨する USB ハードディスクについての最新情報は、下記サポートサイトでご確認ください。

http://panasonic.jp/support/video/connect/

- 以下の場合、本機と接続して USB ハードディスクを使用することができません。
  - ハードディスクの容量が 160 GB 未満または 2 TB を超える USB ハードディスク
  - ハードディスクをパーティションで 2 つ以上にしているとき
  - ハードディスクのフォーマット形式が FAT32 以外のとき
  - USB ハブを使って接続しているとき
  - 据え置き型のハードディスク以外のとき



1 USBハードディスクにACアダプター（USBハードディスクに付属）を取り付ける
- 本機からは電源を供給できません。

2 本機に AC アダプターを取り付けて、モードスイッチを ▶ に合わせる

3 本機と USB ハードディスクを USB 接続ケーブル（USB ハードディスクに付属）でつなぐ
- USB 接続ケーブルのミニ A 側を、本機の USB 端子に接続してください。
- 接続が完了するまで数分かかる場合があります。

4 カーソルボタンで項目を選択し、ENTER ボタンを押す

かんたんコピー：コピーしていない本機で記録したシーンと写真をすべてコピーします。（P68）
選んでコピー：コピーしたいシーン / 写真を選択してコピーします。（P68）
HDD の再生：USB ハードディスクに保存されているシーンや写真を本機で再生します。（P69）
安全な取り外し：本機と USB ハードディスクを安全に取り外します。

● 本機のシーンや写真をコピーしたUSB ハードディスクを他の機器と接続して以下のことができます。
  – USB 端子付きの当社製テレビで再生する
  – USB 端子付きの当社製ブルーレイディスクレコーダーにダビングする
  – HD Writer LE 2.0 を使って、パソコンに保存する /USB ハードディスクに書き戻しする
● USB ハードディスクを当社製ブルーレイディスクレコーダーと接続すると、USB ハードディスクは「USB 機器」と表示されます。ブルーレイディスクレコーダーを操作して選んでください。（操作例：「全機能から選ぶ」→「メディアを使う」→「USB 機器」）

USB ハードディスクをブルーレイディスクレコーダーなど他の機器と接続すると、USBハードディスクのフォーマットを促すメッセージが表示される場合があります。フォーマットすると、USB ハードディスクに記録されたシーン / 写真がすべて消去されます。大切なデータが消去され元に戻すことはできませんので、フォーマットしないでください。

■ コピーする前の確認

● **USB ハードディスクを本機で初めてお使いの場合や、他の機器でお使いになった USB ハードディスクを本機でお使いの場合は、まず「メディアフォーマット」してください。**
● コピーする場合は、「メディア情報表示」でUSBハードディスクの使用領域を確認してください。
● 以下の場合、コピーにかかる時間が長くなることがあります。
  – シーン数が多い
  – 本機の温度が高い
● プロテクト設定したシーンや写真をコピーすると、コピーされたシーンや写真の設定は解除されます。
● コピーするシーンの順番は変更できません。

コピー終了後に SD カードまたは内蔵メモリー内のデータを消去する場合は、消去する前に必ずコピーした USB ハードディスクを再生して、正常にコピーされていることを確認してください。（P69）

■ フォーマット

USB ハードディスクを初期化します。

● **フォーマットすると、すべてのデータは消去され、元に戻すことはできません。大切なデータはパソコンなどに保存しておいてください。**
● **本機と USB ハードディスクを接続して、「HDD の再生」を選択し、ENTER ボタンを押す**

MENU ：「セットアップ」→「メディアフォーマット」→「HDD」

● フォーマット完了後、MENU ボタンを押してメッセージ画面を閉じてください。
● フォーマットは本機と USB ハードディスクを接続して行ってください。
  パソコンなど他の機器でフォーマットすると使用できなくなる場合があります。

■ メディア情報表示

USB ハードディスクの使用領域を確認できます。

● **本機と USB ハードディスクを接続して、「HDD の再生」を選択し、ENTER ボタンを押す**

MENU ：「セットアップ」→「メディア情報表示」

● ENTER ボタンを押すと SD カードと内蔵メモリー、USB ハードディスクの表示が切り換わります。

かんたんコピー

1 本機と USB ハードディスクをつないでコピーの準備をする（P66）

- 本機からは電源を供給できません。

2 カーソルボタンで「かんたんコピー」を選択し、ENTER ボタンを押す

- 「選んでコピー」または「HDD の再生」を選択し、ENTER ボタンを押した場合は、USB ハードディスクとの接続を終了してから（P69）、手順 1 の操作をしてください。

3 コピーするメディアを選択し、ENTER ボタンを押す

4 「はい」を選択し、ENTER ボタンを押す

5 コピー完了のメッセージが出たら、MENU ボタンを押す

- コピー先のサムネイル画面が表示されます。

【コピーを途中でやめるには】
コピー中に MENU ボタンを押す

選んでコピー

1 本機と USB ハードディスクをつないでコピーの準備をする（P66）

- 本機からは電源を供給できません。

2 カーソルボタンで「選んでコピー」を選択し、ENTER ボタンを押す

- メニューから「コピー」を選択しても設定できます。

3 コピーするメディアを選択し、ENTER ボタンを押す

「 → 」: SD カードから USB ハードディスクにコピーする

「 → 」: 内蔵メモリーから USB ハードディスクにコピーする

- SD カード / 内蔵メモリー間のコピーについては 64 ページをお読みください。

4 画面表示に従い、希望の項目を選択し、ENTER ボタンを押す

- を選択し、ENTER ボタンを押すと、1 つ前の手順に戻ります。
- （シーン選択時）
  ENTER ボタンを押すとシーンが選択され、 が表示されます。解除するにはもう一度 ENTER ボタンを押してください。
- （日付選択時）
  ENTER ボタンを押すと日付が選択され、赤色で囲まれます。解除するにはもう一度 ENTER ボタンを押してください。

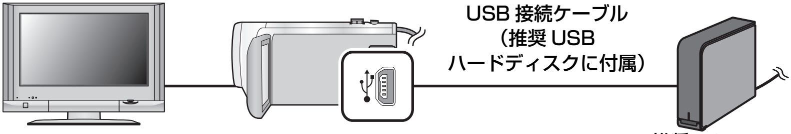
- 最大 99 シーン /99 日付まで続けて選択できます。

5 コピー完了のメッセージが出たら、MENU ボタンを押す

- コピー先のサムネイル画面が表示されます。

【コピーを途中でやめるには】
コピー中に MENU ボタンを押す

● 本機とUSBハードディスクを接続してコピーしたビデオ/写真、またはHD Writer LE 2.0でコピーしたビデオ / 写真のみ再生できます。



1 本機と USB ハードディスクをつないで再生の準備をする（P66）

- テレビで見る場合は、本機とテレビを接続コードでつないでください。（P60）

2 カーソルボタンで「HDD の再生」を選択し、ENTER ボタンを押す

3 シーンまたは写真を選択し、ENTER ボタンを押して再生する

- 再生の操作方法は、ビデオ再生 / 写真再生と同じになります。（P24、48）

【USB ハードディスクとの接続を終了するには】

サムネイル画面で を選択し、ENTER ボタンを押す

- 本機から USB 接続ケーブルを抜いてください。

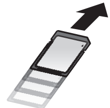
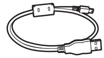
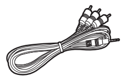
お知らせ

- プレイモード選択アイコンを選択し ENTER ボタンを押すと、再生するメディアを切り換えることもできます。USB ハードディスク接続時は、メディアの （USB ハードディスク）が選択できます。（P23）
- USB ハードディスクのシーンや写真を消去する場合、消去されるまで時間がかかることがあります。
- （USB ハードディスク）の再生時は、以下の設定はできません。
  – シーンプロテクト
  – 分割
  – 分割消去
  – リレーシーンまとめ
  – リレー情報解除

ブルーレイディスクレコーダーやビデオなどで ダビングする

■ **ダビングする前の確認**

お使いのダビングする機器をご確認ください。

ダビングする機器	ダビング画質	ダビングするには
SD カードスロットがある	**ハイビジョン画質※**	SD カードを直接入れる（P71） 
USB 端子がある	**ハイビジョン画質※**	付属の USB 接続ケーブルでつなぐ（P71） 
SD カードスロット、USB 端子がない	**標準画質** ハイビジョン（AVCHD）対応機器以外でも再生できるので、ダビングして配る場合などに便利です。	別売の映像・音声コードでつなぐ（P73） 

※ お使いの機器によっては、ハイビジョン（AVCHD）または MP4（iFrame）に対応していない場合があります。
その場合は、映像・音声コード（別売）をつないで標準画質でダビングしてください。（P73）

- SD カードスロット、USB 端子、映像・音声コードをつなぐ端子の場所は、お使いの機器の取扱説明書をお読みください。

AVCHD のシーンは、当社製ブルーレイディスクレコーダーやハイビジョン（AVCHD）に対応した DVD レコーダーにダビングできます。

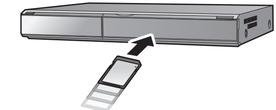
- iFrame や MP4 のシーンは、MP4 に対応した当社製ブルーレイディスクレコーダーにダビングできます。
- 1080/60p で記録したシーンは、AVCHD Progressive 対応機器でのみブルーレイディスクにダビングできます。AVCHD Progressive 非対応の機器と接続すると、記録モード「1080/60p」で記録したシーンは表示されません。
- 1080/60p で記録したシーンを AVCHD 対応機器でダビングするには、HD Writer LE 2.0 で 1080/60i に変換するか、映像・音声コード（別売）をつないで標準画質でダビングしてください。（P73）
HD Writer LE 2.0 について詳しくはソフトウェアの取扱説明書をお読みください。（P85）

本機で撮影した SD カードを直接入れてダビングできる機器、USB 接続ケーブルでつないでダビングできる機器についての最新情報は、下記サポートサイトでご確認ください。

http://panasonic.jp/support/video/connect/

ハイビジョン画質でダビングする ビデオ 写真

■ SD カードスロットがある機器でダビングする



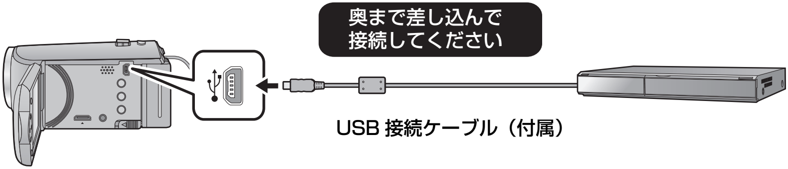
SD カードを直接入れてダビングすることができます。

- 内蔵メモリーのシーンや写真をSDカードにコピーするには （P64）

■ USB 端子がある機器でダビングする

USB 接続ケーブルをつないでダビングすることができます。

- AC アダプターを使うと、バッテリーの消耗を気にせず使えます。
- **本機の電源を入れる**



1 本機とブルーレイディスクレコーダーをつなぐ

- 本機の画面に USB 機能選択画面が表示されます。

2 本機のカーソルボタンで「レコーダー」を選択し、ENTER ボタンを押す

- 「レコーダー」以外を選択した場合は、再度 USB 接続ケーブルを接続し直してください。

3 ダビングするメディアを選択し、ENTER ボタンを押す

- バッテリー使用時は、液晶モニターが約 5 秒後に消灯します。カーソルボタンを操作すると点灯します。

本機の画面表示について

内蔵メモリーにアクセス中は が、SD カードにアクセス中は が表示され、動作中ランプが点灯します。

- 記録内容が失われる原因となりますので、アクセス中は USB 接続ケーブルや AC アダプター、バッテリーを外さないでください。

4 ブルーレイディスクレコーダーを操作して、ダビングする

- ダビング中に、本機の ENTER ボタンを押さないでください。

お知らせ

- 必ず付属の USB 接続ケーブルをお使いください。（付属品以外をお使いの場合は動作を保証できません）
- 本機の電源を入れた状態で、当社製ブルーレイディスクレコーダー、DVD レコーダーに USB 接続ケーブルでつなぐと、接続された機器からも本機に電源が供給されます。
- お使いの機器によってはテレビ画面上で「撮影ビデオ」などと表示されます。ダビングや再生方法など詳しくは、ブルーレイディスクレコーダーや DVD レコーダーの説明書をお読みください。
- 本機とブルーレイディスクレコーダーをつなぐと、ブルーレイディスクレコーダーと接続したテレビの画面に、ダビング操作の画面が表示される場合があります。その場合でも 1 ～ 4 の手順に従って操作してください。
- ブルーレイディスクレコーダーや DVD レコーダーと接続中は、本機のモードスイッチを切り換えたり、電源を切ることはできません。USB 接続ケーブルを外してから行ってください。
- バッテリー残量がなくなると、ダビング中にメッセージが表示されます。ブルーレイディスクレコーダーを操作して、ダビングを中止してください。

従来の標準画質でダビングする ビデオ

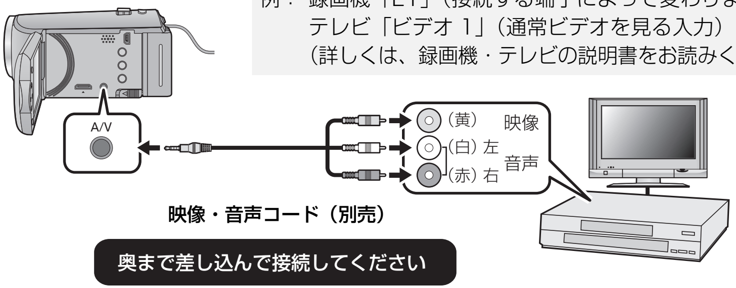
■ SDカードスロットやUSB端子がない機器、またはビデオなどでダビングする

映像・音声コード（別売）をつないでダビングできます。

- AC アダプターを使うと、バッテリーの消耗を気にせず使えます。

録画機・テレビの入力切換を選んでください

例： 録画機「L1」（接続する端子によって変わります）
　　テレビ「ビデオ 1」（通常ビデオを見る入力）
　　（詳しくは、録画機・テレビの説明書をお読みください）



- モードスイッチを ▶ に合わせる

1 本機と録画機をつないで、本機の再生を始める

2 録画機で録画を始める

- 録画（ダビング）を終了するときは、録画機の録画を停止したあと、本機の再生を停止してください。

お知らせ

- 年月日表示や機能表示が不要な場合は、表示を消しておいてください。（P28、61）
- ダビング時は、ENTER ボタンを押して操作アイコンを消しておいてください。（P24）

> ダビングした映像をワイドテレビで再生すると、縦に引き伸ばされた映像になる場合があります。この場合は、ダビングされる機器の説明書をご確認いただくか、またはワイドテレビの説明書をお読みになり 16:9（フル）に設定してください。

Eye-Fi カードを使う

Eye-Fi カード（市販）を使うと、カードに記録したビデオや写真を無線 LAN でパソコンに保存したり、共有サイトにアップロードすることができます。

- 本製品は、Eye-Fi カードの機能（無線送信を含む）を保証するものではありません。カードに関する不具合は、カードメーカーにお問い合わせください。
- Eye-Fi 連動機能を使うには、ブロードバンドにつながった無線 LAN 環境が必要です。
- Eye-Fi カードの使用には、国や地域により許可が必要であり、許可を取得していない場合は使用を認められていません。使用が認められているかご不明の場合は、カードメーカーにご確認ください。
- 通信内容の傍受、不正利用、なりすましなどを防止するために、適切なセキュリティ設定（暗号化設定）を行うことを強くお勧めします。詳しくは Eye-Fi カードおよびアクセスポイントの説明書をお読みください。
- **あらかじめ、Eye-Fi カードに付属しているソフトウェアをパソコンにインストールして、Eye-Fi カードの設定を行ってください。（設定方法や注意事項についてはカードの説明書をお読みいただくか、カードメーカーにお問い合わせください）**

- **Eye-Fi カード（市販）を本機に挿入する**
- （撮影モード時の場合）
  記録するメディアをカードに設定する（P18）
  （再生モード時の場合）
  サムネイル画面でプレイモード選択アイコンを選択し、メディアを ■（カード）にする（P23）

メニュー設定する

MENU：「セットアップ」→「Eye-Fi 転送」→「入」

- 「Eye-Fi 転送」を「入」に設定すると、転送可能なファイルが自動的に転送されます。
- ファイルの転送を中止するには、本機の電源を切るか、「Eye-Fi 転送」を「切」に設定してください。
- お買い上げ時の設定は「切」です。また、Eye-Fi カードを本機から取り出すたびに、「切」に設定されます。
- ビデオ撮影中の Eye-Fi 転送はできません。
- ファイルの転送状況は、サムネイル画面で確認できます。

アイコン	説明
(転送済みアイコン)	転送済みファイル
(転送待機中アイコン)	転送待機中ファイル
(転送不可アイコン)	転送できないファイル

■ Eye-Fi ダイレクトモードを使う

あらかじめパソコンで必要な設定を行っておくと、アクセスポイントを経由せずに、Eye-Fi カードからスマートフォンやタブレット端末などに直接ファイルを転送することができます。

- **Eye-Fiカードに付属しているソフトウェアをパソコンにインストールして、Eye-Fiダイレクトモードの設定を行う**
- **Eye-Fi カード（市販）を本機に挿入する**

メニュー設定する

MENU：「セットアップ」→「Eye-Fi ダイレクト」

- 「Eye-Fi 転送」が「入」のときのみ表示されます。
- 以下の操作を行うと解除されます。
  - 電源を切る
  - ビデオ撮影を開始する

  また、上記以外の場合でも Eye-Fi カードにより解除される場合があります。
- Eye-Fi ダイレクトモードで接続中は「エコモード（バッテリー）」/「エコモード（AC）」は働きません。

■ ファイルを選んで転送する

あらかじめパソコンで必要な設定を行っておくと、選択したファイルのみを転送することができます。設定方法などはカードの説明書をお読みいただくか、カードメーカーにお問い合わせください。

- **Eye-Fi カードに付属しているソフトウェアをパソコンにインストールして、選択転送の設定を行う**
- **Eye-Fi カード（市販）を本機に挿入する**
- **モードスイッチを ▶ に合わせ、プレイモード選択アイコンを選択して、メディアを ■（カード）、ビデオ / 写真を「iFrame」、「MP4」または「写真」にする（P23）**

メニュー設定する

MENU：「ビデオの管理」または「写真の管理」→「選択転送 / プロテクト」

- 設定方法は「シーンプロテクト」の設定と同じです。（P58）
- パソコンで選択転送の設定を行っていない場合、「シーンプロテクト」が表示され、選択転送の設定はできません。
- Eye-Fi カードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」側になっていると「シーンプロテクト」が表示され、選択転送の設定はできません。書き込み禁止スイッチを解除してください。
- 「選択転送 / プロテクト」を設定したファイルは、プロテクト設定も適応されます。ファイルの消去などは、「選択転送 / プロテクト」を解除してから行ってください。
- AVCHD のシーンは選択転送できません。

お知らせ

- Eye-Fi メニューは、Eye-Fi カード使用時のみ表示されます。
- Eye-Fi 連動機能は、カードの仕様変更などにより、将来にわたって動作を保証するものではありません。
- Eye-Fiカードに付属しているソフトウェアで、Eye-Fiカードのファームウェアを最新の状態にしてお使いください。
- Eye-Fi カードのエンドレスメモリ機能が入に設定されている場合、カードから転送されたファイルが自動的に消去されることがあります。
- Eye-Fi カードは、ファイルの転送を行うため、熱くなることがあります。また、Eye-Fi カード使用時は、バッテリーの消耗が早くなりますので、再生モードでの使用をお勧めします。
- Eye-Fi の設定は、撮影の一時停止中に確認できます。

	「Eye-Fi 転送」を「入」に設定時（Eye-Fi ダイレクトモード転送中）
	「Eye-Fi 転送」を「入」に設定時
	「Eye-Fi 転送」を「切」に設定時

- 本機から Eye-Fi カードを抜き、再度本機へ Eye-Fi カードを挿入する場合、Eye-Fi 連動機能をメニューから設定し直してください。
- Eye-Fi カード使用時は、書き込み禁止スイッチを解除してお使いください。（P13）
- ファイルを消去する前に、パソコンへ転送および共有サイトへアップロードされたことを確認してください。
- 航空機の機内など、無線の使用が禁止されている場所では、Eye-Fi カードは使用しないでください。
- 通信状態によっては、転送に時間がかかることがあります。また、通信状態が悪くなると、転送を中断することがあります。
- 2 GB を超えるファイルは転送できません。ファイルを分割してファイルサイズを小さくしてください。（P56）

パソコンでできること

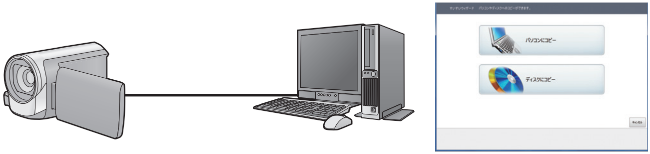
■ 付属の CD-ROM の内容

HD Writer LE 2.0

ビデオや写真のデータをパソコンの HDD にコピーしたり、ブルーレイディスクや DVD ディスク、SD カードにコピーできます。HD Writer LE 2.0 の詳しい使い方については、取扱説明書（PDF ファイル）をお読みください。

● すいすいウィザード

HD Writer LE 2.0 がインストールされたパソコンに本機を接続すると（P82）、すいすいウィザードの画面が自動で表示されます。



パソコンにコピー： ビデオや写真をパソコンの HDD にコピーできます。
ディスクにコピー： ハイビジョン画質や従来の標準画質（MPEG2 形式）でディスクにコピーできます。

- 希望する項目を選び、画面表示に従っていくと簡単にコピーすることができます。

<table>
<tr><th>HD Writer LE 2.0 でできること</th><th>データの種類</th></tr>
<tr><td>パソコンにコピー</td><td rowspan="2">ビデオ
写真</td></tr>
<tr><td>ブルーレイディスクまたは AVCHD 形式でコピーする：
● 1080/60p 記録したシーンを 1080/60p のままコピーできます。（P78：重要なお知らせ）
● iFrame や MP4 のシーンはブルーレイディスクまたは AVCHD 形式でコピーできません。</td></tr>
<tr><td>DVD ビデオでコピーする：
● 従来の標準画質（MPEG2 形式）に変換されます。</td><td rowspan="3">ビデオ</td></tr>
<tr><td>編集する：
パソコンの HDD にコピーされたビデオのデータを編集できます。
● 分割・トリミング・写真追加・タイトル追加・特殊効果・切替効果・BGM 追加・部分削除
● ビデオのデータを MPEG2 形式に変換
● ビデオから静止画切り出し</td></tr>
<tr><td>ネットで共有：
インターネット上にビデオをアップロードして、家族や友人と共有できます。</td></tr>
</table>

HD Writer LE 2.0 でできること	データの種類
パソコンで見る： パソコンでハイビジョン画質のまま再生できます。	ビデオ 写真
ディスクの初期化： 使用するディスクによってはフォーマットが必要です。	ビデオ

- Windows 標準の画像ビューアーや市販の画像閲覧ソフトを使って写真をパソコンで再生したり、Windows エクスプローラーで写真をパソコンにコピーすることができます。
- Mac をお使いの場合は 86 ページをお読みください。

重要なお知らせ

- **パソコンで SDXC メモリーカードをご使用の際は、下記サポートサイトをご確認ください。**

  http://panasonic.jp/support/sd_w/
- **HD Writer LE 2.0 で AVCHD 記録したディスクは、AVCHD 規格に対応していない機器には入れないでください。ディスクの取り出しができなくなることがあります。**
- **1080/60p で記録したシーンをコピーしたブルーレイディスクを再生するには、AVCHD Progressive に対応した機器が必要です。**
- **ビデオをコピーしたディスクを他の機器に入れると、フォーマットを促すメッセージが表示されることがあります。大切なデータが消去され元に戻すことはできませんので、フォーマットしないでください。**

お知らせ

- **本機にパソコンからのデータの書き込みはできません。**
- **他の機器で記録したビデオの取り込みはできません。以前に発売された当社製ハイビジョンビデオカメラで撮影したビデオを取り込むには、その機器に付属の HD Writer をお使いください。**
- 本機付属のソフトウェア以外で、SD カードにビデオのデータの読み書きを行った場合の本機での動作は保証しません。
- 本機付属のソフトウェアと他のソフトウェアを同時に起動しないでください。

動作環境

- 推奨環境のすべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。
- インストールには CD-ROM ドライブが必要です。(ブルーレイディスク /DVD 書き込みには、対応したドライブとメディアが必要です)
- 以下の場合は動作を保証しません。
  – 1 台のパソコンに 2 台以上の USB 機器を接続している場合や、USB ハブや USB 延長ケーブルを使用して接続している場合
  – OS のアップグレード環境の場合
- Windows 3.1、Windows 95、Windows 98、Windows 98 SE、Windows Me、Windows NT および Windows 2000 には対応していません。

■ HD Writer LE 2.0 の動作環境

対応パソコン	IBM PC/AT 互換機
対応 OS	Windows 8 (32bit/64bit) Windows 7 (32bit/64bit) (SP1) Windows Vista (32bit) (SP2) Windows XP (32bit) (SP3)
CPU	Intel Pentium 4 2.8 GHz 以上の CPU（互換 CPU を含む） ● 再生機能 /MPEG2 出力機能を使用する場合は、Intel Core 2 Duo 2.16 GHz 以上または AMD Athlon 64 X2 Dual-Core 5200+ 以上を推奨 ● 編集機能を使用する場合は、Intel Core 2 Quad 2.6 GHz 以上を推奨 ● 1080/60p の再生、編集機能を使用する場合は、Intel Core i7 2.8 GHz 以上を推奨
メモリ	Windows 8/Windows 7: 1 GB 以上 (32bit)、2 GB 以上 (64bit) Windows Vista : 1 GB 以上 Windows XP : 512 MB 以上（1 GB 以上を推奨）
ディスプレイ	High Color（16bit）以上（32bit 以上を推奨） デスクトップ領域 1024×768 以上（1920×1080 以上を推奨） Windows 8/Windows 7/Windows Vista: DirectX 9.0c に対応したビデオカード（DirectX 10 に対応したビデオカードを推奨） Windows XP: DirectX 9.0c に対応したビデオカード DirectDraw のオーバーレイに対応 PCI Express™ ×16 対応を推奨 ビデオメモリ 256 MB 以上
ハードディスクドライブ	Ultra DMA–100 以上 450 MB 以上の空き容量（インストール用） ● ディスクおよびカードに記録するときは、作成するディスクおよびカード容量の 2 倍以上の空き領域が必要です。また、複数のディスクに自動で分割しながら書き出すときは、空き領域が 17 GB 必要です。 ● 圧縮設定を有効にすると記録時にエラーが発生します。ハードディスクドライブの「プロパティ」で「このドライブを圧縮してディスク領域を空ける」のチェックマークを外してください。
サウンド	DirectSound 対応
インターフェース	USB 端子（ハイスピード USB（USB2.0））

その他	マウスまたはマウスと同等のポインティングデバイス インターネット接続環境

- 付属の CD-ROM は Windows 専用です。
- 日本語以外の言語の文字入力はサポートしておりません。
- すべての DVD ドライブについて動作を保証するものではありません。
- Windows XP Media Center Edition、Tablet PC Edition、Windows Vista Enterprise、Windows 7 Enterprise および Windows 8 Enterprise での動作は保証しません。
- Windows 8 ではデスクトップアプリとしてのみ動作します。
- マルチブート環境には対応していません。
- マルチモニター環境には対応していません。
- Windows XP は管理者アカウントのユーザーでのみ使用可能です。
  Windows Vista/Windows 7/Windows 8は管理者および標準アカウントのユーザーでのみ使用可能です。（インストール、アンインストールは管理者アカウントのユーザーで行ってください）

■ HD Writer LE 2.0 をお使いになるには

お使いになる機能によっては処理能力が高いパソコンが必要になります。お使いになるパソコンの環境によっては正しく再生されなかったり、正しく動作しない場合があります。動作環境および注意事項をよくお読みください。

お知らせ

- CPU やメモリが動作環境に満たない場合、再生時の動作が遅くなることがあります。
- ビデオカードのドライバーは常に最新の状態でお使いください。
- パソコンの HDD に十分な空き容量があることを確認してお使いください。空き容量が少なくなると、操作ができなくなったり、動作が停止する場合があります。

■ カードリーダー機能（マスストレージ）の動作環境

対応パソコン	IBM PC/AT 互換機
対応 OS	Windows 8 (32bit/64bit) Windows 7 (32bit/64bit) および SP1 Windows Vista (32bit) (SP2) Windows XP (32bit) (SP3)
CPU	Windows 8/Windows 7/Windows Vista: 1 GHz 以上、32bit もしくは 64bit のプロセッサ（互換 CPU を含む） Windows XP: Intel Pentium III 450 MHz以上、またはIntel Celeron 400 MHz以上
メモリ	Windows 8/Windows 7: 1 GB 以上 (32bit)、2 GB 以上 (64bit) Windows Vista Home Basic: 512 MB 以上 Windows Vista Home Premium/Business/Ultimate/Enterprise: 1 GB 以上 Windows XP: 512 MB 以上（1 GB 以上を推奨）
インターフェース	USB 端子
その他	マウスまたはマウスと同等のポインティングデバイス

- OS 標準ドライバーで動作します。

ソフトウェアのインストール

ソフトウェアをインストールするときは、ユーザー名を「Administrator」(もしくはコンピューターの管理者の権限を持つユーザー名) にしてパソコンにログオンしてください。(権限がない場合はシステム管理者にご相談ください)

- インストールを始める前に他の起動中のソフトウェアをすべて終了し、インストール中に他の作業をしないでください。
- 操作手順は Windows 7 での説明となります。

1 CD-ROM をパソコンに入れる

- 自動で「自動再生」の画面が表示されます。「setup.exe の実行」→「はい」をクリックしてください。
- 自動で「自動再生」の画面が表示されない場合は、「スタート」→「コンピューター」を選び (またはデスクトップの「コンピューター」をダブルクリックして)、「Panasonic」をダブルクリックしてください。

2 「はい」をクリックする

3 「次へ」をクリックする

- **画面の指示に従って操作してください。**

インストール完了後、パソコンを再起動してください。

■ HD Writer LE 2.0 をアンインストールするには

ソフトウェアが不要になったときは、以下の方法でアンインストールしてください。

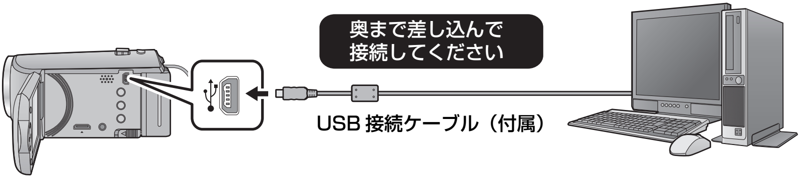
1 「スタート」→「コントロールパネル」→「プログラムのアンインストール」を選ぶ

2 「HD Writer LE 2.0」を選び、「アンインストール」をクリックする

- 画面の指示に従ってアンインストールを進めてください。
- ソフトウェアをアンインストールしたときは、パソコンを再起動してください。

パソコンと接続する

- ソフトウェアのインストール後に接続を行ってください。
- 付属 CD-ROM がパソコンに入っている場合は、取り出してください。



1 AC アダプターを取り付ける

- AC アダプターを使うと、バッテリーの消耗を気にせず使えます。

2 本機の電源を入れる

3 本機とパソコンをつなぐ

- 本機の画面に USB 機能選択画面が表示されます。

4 本機のカーソルボタンで「パソコン」を選択し、ENTER ボタンを押す

- HD Writer LE 2.0 をインストールしているときは、すいすいウィザードの画面が自動で表示されます。
- 本機が自動的にパソコンの外付けドライブとして認識されます。（P84）
- 「パソコン」以外を選択した場合は、再度 USB 接続ケーブルを接続し直してください。
- バッテリー使用時は、液晶モニターが約 5 秒後に消灯します。カーソルボタンを操作すると点灯します。

お知らせ

- 必ず付属の USB 接続ケーブルをお使いください。（付属品以外をお使いの場合は動作を保証できません）
- 本機の電源を入れた状態で、パソコンに USB 接続ケーブルでつなぐと、パソコンからも本機に電源が供給されます。
- パソコンでSDカードのデータを読み書きするときに、パソコンに内蔵されているSDカードスロットやお使いのSDカードリーダーライターではSDHCメモリーカードやSDXCメモリーカードに対応していない場合があります。
- パソコンで SDXC メモリーカードをご使用の際は、下記サポートサイトをご確認ください。
http://panasonic.jp/support/sd_w/

■ USB 接続ケーブルを安全に外すには

パソコンの画面でタスクトレイの アイコンを選び、「Panasonic Video Camera の取り出し」をクリックする

- お使いのパソコンの設定によっては、このアイコンが表示されない場合があります。

本機の画面表示について

- 本機にアクセスしている間は、動作中ランプが点灯します。SD カードにアクセスしている間は が、内蔵メモリーにアクセスしている間は が本機の画面に表示されます。アクセス中はUSB 接続ケーブルやバッテリー、またはACアダプターを外さないでください。
- パソコンと接続中に本機を操作しても画面が変わらない場合は、バッテリーや AC アダプターを外して約 1 分程度たってから、再度バッテリーや AC アダプターを取り付け、さらに約 1 分程度たってから電源を入れ直してください。(SD カードや内蔵メモリーのアクセス中に上記の操作を行うと、データが破壊されることがあります)

■ 他の機器につないでバッテリーを充電するには

バッテリー使用時に本機の電源を切った状態で、パソコンまたは当社製ブルーレイディスクレコーダー、DVD レコーダーにUSB 接続ケーブルでつなぐとバッテリーを充電します。

- **本機とパソコンを初めて接続する場合は、必ず本機の電源を入れた状態でパソコンに接続してください。**
- USB 接続ケーブルは、奥までしっかり差し込んでください。差し込みがゆるいと、正常に機能しません。
- 必ず付属の USB 接続ケーブルをお使いください。(付属品以外をお使いの場合は動作を保証できません)
- 必ずパソコンまたは当社製ブルーレイディスクレコーダー、DVD レコーダーに直接接続してください。
- 充電中は動作表示ランプが点滅します。
- 動作表示ランプが速く点滅したあとに消灯した場合や、点灯しない場合は充電できません。AC アダプターで充電してください。(P11)
- 充電時間は、AC アダプターで充電する場合の約 2 ～ 3 倍長くなります。
- 動作表示ランプの点滅速度が速いときや遅いときは 102 ページをお読みください。

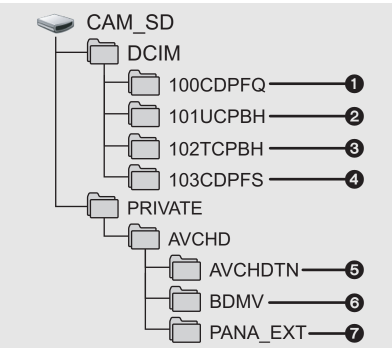
パソコンでの表示について

本機をパソコンと接続すると、パソコンの外付けドライブとして認識されます。

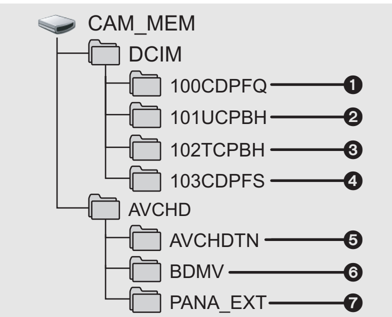
- リムーバブルディスク（例：CAM_SD (F:)）が「コンピューター」に表示されます。

> ビデオデータをコピーする場合は、HD Writer LE 2.0 を使用することをお勧めします。
> Windows エクスプローラーなどで、本機で記録したフォルダーやファイルのコピー、移動、名前の変更をすると HD Writer LE 2.0で使用できなくなります。
> また、本機の内蔵メモリーまたはSDカードにパソコンからのデータの書き込みはできません。

SD カードのフォルダー構造例：



内蔵メモリーのフォルダー構造例：



以下が記録されます。

❶ JPEG 形式の写真（最大で 999 枚記録できます。（「S1000001.JPG」など）
❷ iFrame 規格のビデオデータ（「S1000001.MP4」など）
❸ MP4 規格のビデオデータ（「S1000001.MP4」など）
❹ ビデオから作成したJPEG形式の写真
❺ ビデオのサムネイル
❻ AVCHD 規格のビデオデータ（「00000.MTS」など）
❼ 管理用

■ 写真をパソコンにコピーするには

カードリーダー機能（マスストレージ）

［エクスプローラー］などで本機で記録した写真をパソコンにコピーできます。

1） 写真が保存されているフォルダー（「DCIM」→「100CDPFQ」など）をダブルクリックする

2） コピー先のフォルダー（パソコンの HDD）に写真ファイルをドラッグ & ドロップする

お知らせ

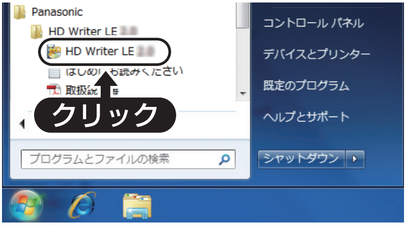
- SD カード内のフォルダーをパソコン上で消去しないでください。本機で読み込めなくなる場合があります。
- パソコン上で本機が対応していないデータを記録した場合、本機では認識できません。
- SDカードのフォーマットは必ず本機で行ってください。

HD Writer LE 2.0 を起動する

- 管理者または標準ユーザー（Windows 8/Windows 7/Windows Vista のみ）アカウントのユーザー名でログオンしてから、ご使用ください。
  Guest アカウントのユーザー名ではご使用になれません。

（パソコンで）

「スタート」→「すべてのプログラム」→「Panasonic」→「HD Writer LE 2.0」→「HD Writer LE 2.0」を選ぶ



- ソフトウェアの詳しい使い方については、ソフトウェアの取扱説明書（PDF ファイル）をお読みください。

ソフトウェアの取扱説明書を読む

- 取扱説明書（PDF ファイル）を読むためには、Adobe Acrobat Reader 5.0 以降、または Adobe Reader 7.0 以降が必要です。

「スタート」→「すべてのプログラム」→「Panasonic」→「HD Writer LE 2.0」→「取扱説明書」を選ぶ

Mac をお使いの場合

- HD Writer LE 2.0 は Mac で使用できません。
- iMovie '11 に対応しています。iMovie '11 の詳細は Apple にお問い合わせください。
- **1080/60p 記録したシーンは Mac に取り込むことができません。**

■ 動作環境

対応パソコン	Mac
対応 OS	Mac OS X 10.8.2
CPU	Intel Core 2 Duo 以上
メモリ	2 GB 以上
インターフェース	USB 端子
その他	マウスまたはマウスと同等のポインティングデバイス

- 推奨環境のすべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。
- OS 標準ドライバーで動作します。
- 付属の CD-ROM は Windows 専用です。

■ 写真をパソコンにコピーするには

1 本機とパソコンを USB 接続ケーブルで接続する

- 本機の画面に USB 機能選択画面が表示されます。

2 本機のカーソルボタンで「パソコン」を選択し、ENTER ボタンを押す

- 本機が自動的に Mac の外付けドライブとして認識されます。
- 「パソコン」以外を選択した場合は、再度 USB 接続ケーブルを接続し直してください。
- バッテリー使用時は、液晶モニターが約 5 秒後に消灯します。カーソルボタンを操作すると点灯します。

3 デスクトップに表示される「CAM_SD」または「CAM_MEM」をダブルクリックする

- 「DCIM」フォルダー内の「100CDPFQ」フォルダーなどに写真ファイルが保存されています。

4 取り込みたい画像の入っているフォルダーや写真ファイルをパソコン上の別のフォルダーにドラッグ & ドロップする

■ USB 接続ケーブルを安全に外すには

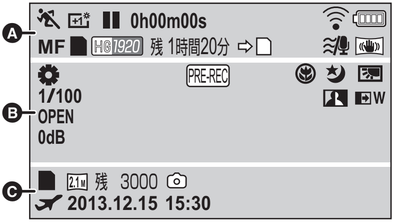
デスクトップに表示されている「CAM_SD」または「CAM_MEM」を「ゴミ箱」に捨ててから、USB 接続ケーブルを取り外す。

お知らせ

- 必ず付属の USB 接続ケーブルをお使いください。（付属品以外をお使いの場合は動作を保証できません）

画面の表示

■ 撮影表示



A

iA / / / /	インテリジェントオート（P21）
MNL	マニュアルモード（P44）
/ / / / / / / / / /	シーンモード（P39）
+2 / +1 / -1	パワー LCD（P30）
●/❚❚（赤）	記録中
❚❚（緑）	撮影の一時停止中
0h00m00s	撮影経過時間（P19） （h は「hour（時間）」、m は「minute（分）」、s は「second（秒）」を省略した表示です）
/ /	Eye-Fi 設定（P76）
	バッテリー残量（P12）
MF	マニュアルフォーカス（P47）
	内蔵メモリー記録可能状態（ビデオ）
（白） （緑）	カード記録可能状態（ビデオ） カード認識中（ビデオ）
1080/60p / HA1920 / HG1920 / HE1920 / iFrame / 360/30p	記録方式 / 記録モード（P40）
残1時間20分	残り記録可能時間（P19）
	リレー記録 (P41)
	風音低減（P42）
	手ブレ補正 (P35)

B

AWB / / / / / /	ホワイトバランス設定（P45）
1/100	シャッター速度（P46）
OPEN/F2.0	絞り値（P46）
0dB	ゲイン値（P46）
PRE-REC	PRE-REC（P38）
	テレマクロ（P38）
	カラーナイトビュー（P38）
	コントラスト視覚補正（P38）
	逆光補正（P37）
W / B	フェード（白）/ フェード（黒）（P37）

C

	内蔵メモリー記録可能状態(写真)
（白） （緑）	カード記録可能状態（写真） カード認識中（写真）
10M / 2.1M / 0.2M	写真の記録画素数（P20、43、48） 他の機器で記録した写真は、上記以外のサイズの場合は再生時にサイズ表示されません。
残 3000	写真の残り記録可能枚数(P20)
（白） （赤）	写真記録アイコン 写真記録中
	ワールドタイム設定（P27）
2013.12.15 15:30	年月日（P16） 時刻（P16）

■ 再生表示

▶/❚❚/▶▶/◀◀/▶▶▶/◀◀◀/▶|/|◀/❚▶/◀❚/❚❚▶/◀❚❚

再生中表示（P24、48）

0h00m00s	再生時間（P24）
No.10	シーン番号
	リピート再生（P49）
▶▶▶	続きから再生（P49）
100-0001	写真フォルダー / ファイル名
	選択転送 / プロテクト設定済み（P58、75）

AVCHD / 1080/60p / 1080/60i / i Frame / MP4

プレイモード選択表示（P23）

60p	1080/60p 記録したシーン（P23）
	リレー記録したシーン（P41）

Eye-Fi 転送状況（P74）

■ USB ハードディスク接続時の表示

	USB ハードディスク再生（P69）

■ 他機器接続表示

	カードアクセス中（P71、83）
	内蔵メモリーアクセス中（P71、83）

■ 確認表示

-- （時刻表示）	内蔵日付用電池が消耗したとき（P16）
[!]	対面撮影時の警告（P17）
	SD カードが入っていないとき、または使用不可カード

メッセージ表示

文章で画面に表示される、主な確認 / エラーメッセージの例です。

定期的に内蔵メモリーのバックアップをとることをお勧めします。

内蔵メモリーに記録したビデオや写真は、定期的にパソコンやディスクなどにコピーしてください。（P77）このメッセージは内蔵メモリーの異常をお知らせするものではありません。

カードを確認してください。

非対応のカード、または本機で認識できないカードを入れています。
SD カードにビデオや写真が記録されているのにこの表示が出る場合は、SD カードの状態が不安定になっていることが考えられます。SD カードを挿入し直して、電源を入れ直してください。

このバッテリーは使えません。

- 本機で使用できるバッテリーをお使いください。（P10）本機に対応したパナソニック製バッテリーをお使いの場合は、バッテリーを外し、再び取り付けてください。何度も繰り返し表示されるときは修理が必要です。電源を外して、お買い上げの販売店へご連絡ください。お客様での修理はご遠慮ください。
- 本機に対応していないACアダプターをお使いの場合は、付属のACアダプターをお使いください。（P11）

この外部ドライブは使用できません。/ 外部ドライブを確認してください。

- 本機で認識できない外部ドライブを接続しています。本機と接続して使用できるUSB ハードディスクか確認し、再度接続し直してください。（P66、67）

修復について

異常な管理情報を検出するとメッセージが表示され、修復が行われます。
（エラー内容によっては時間がかかることがあります）

- サムネイル表示中に異常な管理情報が検出されたシーンには [!] が表示されます。

お知らせ

- 十分に充電されたバッテリーまたは AC アダプターを使用してください。
- データの状態によっては、完全には修復できないことがあります。
- 修復に失敗すると、電源が切れる前に撮影したシーンが再生できなくなります。
- 他の機器で記録されたデータを修復すると、本機や他の機器で再生できなくなる場合があります。
- 修復に失敗したときは、本機の電源を切ってしばらくしてから電源を入れ直してください。何度も繰り返し修復に失敗するときは、本機でフォーマットしてください。フォーマットするとすべてのデータは消去され元に戻すことはできません。
- サムネイル情報が修復されると、サムネイルの表示が遅くなる場合があります。

故障かな!?と思ったら

■ 次のような場合は、故障ではありません

本機を振ると「カタカタ」音がする	● これはレンズが移動する音です。故障ではありません。 電源を入れて、モードスイッチを に合わせると音はしなくなります。
被写体がゆがんで見える	● 本機の撮像素子に MOS を使用しているため、被写体が素早く横切った場合、少しゆがんで見えることがありますが、故障ではありません。
レンズや液晶モニターが曇る	● 露付きの現象です。故障ではありません。 6 ページをお読みください。

	こんなときは？	ご確認ください
電源	電源が入らない 電源が入ってもすぐに切れる バッテリーの消耗が早い	● 再度バッテリーを十分に充電してください。（P11） ● 低い温度のところでは使用できる時間が短くなります。 ● 十分に充電しても使用できる時間が短いときは、バッテリーの寿命です。
	電源が勝手に切れる	● ビエラリンク（HDMI）対応のテレビと HDMI ミニケーブルで接続した場合、テレビのリモコンを使ってテレビの電源を切ると、本機の電源も連動して切れます。ビエラリンク（HDMI）を使用しない場合は「ビエラリンク」を「切」に設定してください。（P62）
	電源が入っているのに何も操作できない 正常に動作しない	● バッテリーや AC アダプターを外して 1 分程度たってから、再度バッテリーや AC アダプターを取り付け、さらに 1 分程度たってから電源を入れ直してください。（内蔵メモリーや SD カードへのアクセス中に上記の操作を行うと、データが破壊されることがあります） ● それでも正常に動作しない場合は、電源を外して、お買い上げの販売店にご連絡ください。
	「電源を入れ直してください。」と表示される	● 本機が異常を検出しました。電源を入れ直して本機を再起動させてください。 ● 電源を入れ直さなかった場合は、約 1 分後に電源が切れます。 ● 再起動させても何度も繰り返し表示されるときは、修理が必要です。電源を外して、お買い上げの販売店にご連絡ください。お客様での修理はご遠慮ください。

	こんなときは？	ご確認ください
充電時	バッテリーパック **VW-VQT380**（別売）をワイヤレス充電パッドで充電できない、または機器認識されない	● ワイヤレス充電パッドが動作しているか確認してください。 ● バッテリーの温度が高すぎる、または低すぎる場合は充電できないことがあります。0 ℃～ 40 ℃の場所でバッテリーをしばらく置いてから充電してください。 ● 長期間使用しなかったとき、ワイヤレス充電パッドで充電できない場合があります。本機の AC アダプターでの充電をお試しください。 ● ワイヤレス充電パッドの説明書もお読みください。
画面表示	機能表示（残量表示、カウンター表示など）が出ない	● 「セットアップ」メニューの「画面表示」が「切」になっています。(P27)
撮影	撮影が勝手に止まってしまう	● ビデオ撮影に使用可能な SD カードをお使いください。（P13） ● データ書き込み速度の低下、または記録・消去の繰り返しにより記録可能時間が短くなる場合があります。本機で SD カードまたは内蔵メモリーをフォーマットしてください。（P31） ● 「うっかり撮り防止」を「入」にしている場合は、正しく真正面に向けて撮影するか、「切」にしてください。（P42）
	自動でピントが合わない	● インテリジェントオートモードにしてください。 ● オートフォーカスでピントが合いにくい場面を撮影しているときは、手動でピントを合わせてください。（P22、47）
	「明るさがたりません。レンズカバーを確認してください。」と表示される	● 電源を入れる前に、レンズカバーを開けてください。 ● 極端に暗い場所での撮影時などに、メッセージが表示されることがあります。
	体育館などで撮影すると映像の色合いがおかしい	● 体育館やホールなどの光源が複数ある場所では、ホワイトバランスの設定を「 （屋内 2）」に合わせてください。「 （屋内 2）」でうまく撮れないときは「 （セットモード）」にしてください。（P45）
	画面の色合いや明るさが変わったり、画面に横帯が出る 室内で液晶モニターがちらつく	● 蛍光灯、ナトリウム灯、水銀灯などの照明下で撮影すると画面の色合いや明るさが変わったり、画面に横帯が出たりしますが故障ではありません。 ● インテリジェントオートモードで撮影するか、シャッター速度を関東地方など 50 Hz の地域では 1/100 秒、関西地方など 60 Hz の地域では 1/60 秒に設定してください。
再生	シーンや写真が再生できない	● サムネイル表示が [!] のシーンや写真は再生できません。 ● 他の機器で記録したビデオは、本機で再生できない場合があります。（[!] が表示されます）

	こんなときは？	ご確認ください
再生	シーンなどの消去ができない	● プロテクトを解除してください。（P58、75） ● サムネイル表示が [!] のシーン/写真は消去できないことがあります。不要な場合は SD カードまたは内蔵メモリーをフォーマットしてください。（P31）フォーマットすると SD カードまたは内蔵メモリーに記録されているすべてのデータは消去されます。大切なデータはパソコンやディスクなどに保存しておいてください。
他機器との接続	テレビと正しく接続しているのに映像が出ない 映像が縦長になる	● テレビの説明書をご覧になり、接続した端子に入力切換してください。 ● 「接続するテレビ」の設定がお使いのテレビに合っているか確認してください。（P61） ● 本機をテレビに接続すると、以下の場合はテレビに映像が表示されません。本機の液晶モニターでご確認ください。 – ビデオ撮影中 – PRE-REC 設定時
	他の機器にSDカードを入れても認識しない	● SDカードを挿入されている機器が、ご使用のSDカードの容量、または種類（SDメモリーカード/SDHCメモリーカード/SDXCメモリーカード）に対応しているかご確認ください。詳しくは、お使いの機器の説明書をお読みください。
	他の機器とUSB接続ケーブルでつないでも認識しない	● バッテリーのみを使って他の機器と接続しているときは、AC アダプターを使って接続し直してください。
	ビエラリンク（HDMI）が働かない	（本機の設定） ● HDMI ミニケーブル（付属）で接続してください。（P60） ● 「ビエラリンク」の設定を「入」にしてください。（P62） ● 本機の電源を入れ直してください。 （他機の設定） ● テレビの入力切換が自動で切り換わらない場合は、テレビのリモコンを使って入力切換をしてください。 ● 接続した機器側のビエラリンク（HDMI）の設定を確認してください。 ● 接続した機器の取扱説明書もお読みください。
パソコン	USB接続ケーブルをつないでもパソコンが認識しない	● 本機のSDカードを入れ直してから、付属のUSB接続ケーブルを再度接続し直してください。 ● パソコンに複数のUSB端子がある場合は、USB端子を変更してください。 ● 動作環境を確認してください。（P79、86） ● パソコンを再起動して本機の電源を入れ直してから、付属の USB 接続ケーブルを再度接続し直してください。
	USB 接続ケーブルを外したらパソコンにエラーメッセージが出る	● USB 接続ケーブルを安全に外すために、タスクトレイの  アイコンをダブルクリックしてから、画面の指示に従ってください。

	こんなときは？	ご確認ください
パソコン	**HD Writer LE 2.0 の取扱説明書（PDF ファイル）が見られない**	● HD Writer LE 2.0 の取扱説明書（PDF ファイル）を読むためには、Adobe Acrobat Reader 5.0 以降、または Adobe Reader 7.0 以降が必要です。
その他	**本機に SD カードを入れても認識しない**	● パソコンでフォーマットした SD カードを入れると認識しない場合があります。SD カードをフォーマットする場合は本機で行ってください。（P31）

■ 他の機器で再生すると、AVCHD のシーンの切り換わりがスムーズにできない場合について

以下のような場合には、複数のシーンを連続して再生したときに、シーンの切り換わりで数秒間画像が静止することがあります。

- シーンの連続再生のスムーズさは再生する機器に依存します。再生する機器によっては、下記の条件に該当しない場合でも一瞬映像が静止することがあります。
- 4 GB を超えてビデオを連続記録したデータを他の機器で再生した場合、4 GB ごとに映像が一瞬止まることがあります。
- HD Writer LE 2.0 でシーンの編集を行った場合にも、スムーズに再生できないことがありますが、HD Writer LE 2.0 で「シームレス設定」をすると、スムーズに再生できるようになります。詳しくは HD Writer LE 2.0 の取扱説明書をお読みください。

スムーズに再生されない主な条件
● 違う日付で記録した場合
● 3 秒未満のシーンを記録した場合
● PRE-REC を使って記録した場合
● シーンを消去した場合
● SD カード / 内蔵メモリー間でシーンを選んでコピーした場合
● 同じ日付で 99 シーンを超える記録をした場合

安全上のご注意 （必ずお守りください）

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ **誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。**

⚠ **危険**	「死亡や重傷を負うおそれが大きい内容」です。
⚠ **警告**	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ **注意**	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ **お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）**

🚫 してはいけない内容です。	❗ 実行しなければならない内容です。

⚠ 危険

■ **指定以外のバッテリーパックを使わない**

■ **バッテリーパックの端子部（⊕・⊖）に金属物（ネックレスやヘアピンなど）を接触させない**

■ **バッテリーパックを分解、加工（はんだ付けなど）、加圧、加熱、水などの液体や火の中へ入れたりしない**

■ **バッテリーパックを電子レンジやオーブンなどで加熱しない**

■ **バッテリーパックを炎天下（特に真夏の車内）など、高温になるところに放置しない**

液もれ・発熱・発火・破裂の原因になります。

- ビニール袋などに入れ、金属物と接触させないようにしてください。
- 不要（寿命）になったバッテリーについては、101 ページをご参照ください。
- 万一、液もれが起こったら、お買い上げの販売店にご相談ください。
  液が身体や衣服に付いたときは、水でよく洗い流してください。
  液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。
  目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。

⚠危険

■ バッテリーパックの充電は、本体または専用充電器を使用する
■ バッテリーパック VW-VQT380（別売）をワイヤレス充電する場合は、Qiマークが付いている充電パッドを使用する

指定以外の充電器で充電すると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをする原因になります。

バッテリーパック VW-VQT380（別売）をワイヤレス充電する場合は、バッテリーパックと充電パッドの間に、金属異物がはさまった状態で充電しない

発熱や発火、やけどの原因になります。

⚠警告

異常・故障時には直ちに使用を中止する

異常があったときには、バッテリーを外す
- **煙が出たり、異常なにおいや音がする**
- **映像や音声が出ないことがある**
- **内部に水や異物が入った**
- **電源プラグが異常に熱い**
- **本体や AC アダプターが破損した**

そのまま使うと火災・感電の原因になります。

- AC アダプターを使っている場合は、電源プラグを抜いてください。
- 電源を切り、販売店にご相談ください。

雷が鳴り出したら、本機の金属部や AC アダプターなどの電源プラグに触れない

接触禁止

感電の原因になります。

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流 100 V ～ 240 V 以外での使用はしない

たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

⚠警告

電源コード・プラグを破損するようなことはしない（傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねるなど）

傷んだまま使用すると、感電や、ショートによる火災の原因になります。

- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない

ショートや発熱により、火災・感電・故障の原因になります。

- 機器の近くに水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

可燃性・爆発性・引火性のガスなどのある場所で使わない

火災や爆発の原因になります。

- 粉じんの発生する場所でも使わないでください。

メモリーカードは、乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。

- 万一、飲み込んだら、すぐに医師にご相談ください。

乗り物の運転中に使わない

事故の誘発につながります。

- 歩行中でも周囲の状況、路面の状況に十分注意する。

電源を入れたまま長時間、直接触れて使用しない

本機の温度の高い部分に長時間、直接触れていると低温やけど※の原因になります。長時間ご使用の場合は、三脚などをお使いください。

※血流状態が悪い人（血管障害、血液循環不良、糖尿病、強い圧迫を受けている）や皮膚感覚が弱い人などは、低温やけどになりやすい傾向があります。

⚠警告

分解禁止

分解、改造をしない

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。

ぬれ手禁止

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

感電の原因になります。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは、使わないでください。

電源プラグのほこり等は定期的にとる

プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

⚠注意

レンズを太陽や強い光源に向けたままにしない

集光により、内部部品が破損し、火災の原因になることがあります。

本機の上に重い物を載せたり、乗ったりしない

倒れたり落下すると、けがの原因になることがあります。
また、重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になることがあります。

⚠注意

異常に温度が高くなるところに置かない

特に真夏の車内、車のトランクの中は、想像以上に高温（約 60 ℃以上）になります。
本機やバッテリー、AC アダプターなどを絶対に放置しないでください。火災の原因になることがあります。

- また、外装ケースや内部部品が劣化する原因にもなりますのでご注意ください。

油煙や湯気の当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かない

電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災・感電の原因になることがあります。

電源プラグを抜く

長期間使わないときや、お手入れのときは、電源プラグを抜く

通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、ろう電などにより、火災の原因になることがあります。

- カードは、保護のため取り出しておいてください。

病院内や機内では、病院や航空会社の指示に従う

本機からの電磁波などが、計器類に影響を及ぼすことがあります。

使用上のお願い

本機について

使用中は本体や SD カードが温かくなりますが、異常ではありません。

磁気が発生するところや電磁波が発生するところ（携帯電話、電子レンジ、テレビやゲーム機など）からはできるだけ離れて使う

- テレビの上や近くで操作すると、電磁波の影響で映像や音声が乱れることがあります。
- スピーカーや大型モーターなどが出す強い磁気により、記録が損なわれたり、映像がゆがんだりします。
- マイコンを含めたデジタル回路の出す電磁波により、お互いに影響を及ぼし、映像や音声が乱れることがあります。
- 本機が影響を受け、正常に動作しないときは、バッテリーや AC アダプターを一度外してから、あらためて接続し電源を入れ直してください。

電波塔や高圧線が近くにあるときは、なるべく使わない

- 近くで撮ると、電波や高電圧の影響で撮影映像や音声が悪くなることがあります。

付属のコード、ケーブルを必ず使用してください。別売品をお使いの場合は、別売品に付属のコード、ケーブルを使用してください。また、コード、ケーブルは延長しないでください。

周囲で殺虫剤や揮発性のものを使うときは、本機にかけない

- かかると、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがあります。
- ゴム製品やビニール製品などを長期間接触させたままにしないでください。

浜辺など砂やほこりの多いところで使うときは、内部や端子部に砂やほこりが入らないようにする
また海水などでぬらさないようにする

- 砂やほこりは、本機の故障につながります。（SD カードの出し入れ時はお気をつけください）
- 万一海水がかかったときは、よく絞った布でふき、そのあと乾いた布でふいてください。

本機を持ち運びするときは、落としたり、ぶつけたりしない

- 強い衝撃が加わると、外装ケースがこわれ、故障するおそれがあります。

お手入れ

お手入れの際は、バッテリーを外しておく、または電源プラグをコンセントから抜き、乾いた柔らかい布でふいてください。

- 汚れがひどいときは、水に浸した布をよく絞ってから汚れをふき取り、そのあと、乾いた布でふいてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤は、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがありますので使用しないでください。
- 化学雑巾をご使用の際は、その注意書きに従ってください。

監視用など、業務用として使わない

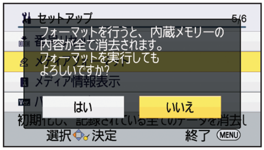
- 長時間使うと、内部に熱がこもり故障するおそれがあります。
- 本機は業務用ではありません。

長期間使用しない場合について

- 押し入れや戸棚に保管するときは、乾燥剤（シリカゲル）と一緒に入れることをお勧めします。

本機を廃棄 / 譲渡するときのお願い

- 本機で内蔵メモリーの「メディアフォーマット」や「消去」をしても、ファイル管理情報が変更されるだけで、内蔵メモリー内のデータは完全には消去されません。市販のデータ復元（修復）ソフトなどで、データを復元される場合があります。
- 廃棄 / 譲渡の際は、本機の内蔵メモリーを物理フォーマットすることをお勧めします。
  物理フォーマットするには、本機を AC アダプターとつないで、メニューから「セットアップ」→「メディアフォーマット」→「内蔵メモリー」を選び、右記の画面で撮影開始 / 一時停止ボタンを約 3 秒間押し続けます。
  内蔵メモリーデータ消去の画面が表示されますので、「はい」を選び、画面の指示に従ってください。



- 内蔵メモリー内のデータはお客様の責任において管理してください。万一、個人データが漏洩した場合、当社は一切の責任を負いかねます。

－このマークがある場合は－

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報

このシンボルマークは EU 域内でのみ有効です。
製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

バッテリーについて

本機で使用するバッテリーは、充電式リチウムイオン電池です。このバッテリーは温度や湿度の影響を受けやすく、温度が高くなる、または低くなるほど影響が大きくなります。温度の低いところでは、満充電表示にならない場合や、使用開始後 5 分くらいでバッテリー警告表示が出る場合があります。また高温になると保護機能が働き、使用できない場合もあります。

使用後は、必ずバッテリーを外して保管する

- 付けたままにしておくと、本機の電源を切っていても、絶えず微少電流が流れています。そのままにしておくと、過放電になり、充電してもバッテリーが使用できなくなるおそれがあります。
- 端子部に金属が触れないようにビニールの袋に入れて保管してください。
- バッテリーは涼しくて湿気がなく、なるべく温度が一定のところに保管してください。（推奨温度 :15 ℃～ 25 ℃、推奨湿度 : 40%RH ～ 60%RH です）
- 極端に低温、高温になるところで保管すると、バッテリーの寿命が短くなることがあります。
- 高温･多湿、油煙の多いところでは、端子がさびたりして故障の原因になります。
- 長期間保管する場合、1 年に 1 回は充電し、本機で充電容量を使いきってから再保管することをお勧めします。
- バッテリーの端子部に付いたほこりなどは取ってください。

出かけるときは予備のバッテリーを準備する

- 撮影したい時間の３～４倍のバッテリーを準備してください。スキー場などの寒冷地では撮影できる時間がより短くなります。
- 旅行をするときは、現地でバッテリーを充電できるように AC アダプターも忘れずに準備してください。海外で使う場合は、変換プラグが必要な場合があります。（P105）

バッテリーを誤って落下させてしまった場合、端子部が変形していないか確認する

- 端子部が変形したまま本体に付けると、本体をいためます。

不要（寿命になったなど）バッテリーは火中などに投入しない

- 加熱したり火中などに投入すると、破裂するおそれがあります。

充電直後でもバッテリーの使用時間が大幅に短くなったら、バッテリーの寿命です。新しいものをお買い求めください。

不要になった電池は、捨てないで充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

使用済み充電式電池の届け先

最寄りのリサイクル協力店へ

詳細は、一般社団法人 JBRC のホームページをご参照ください。

- ホームページ : http://www.jbrc.net/hp

使用済み充電式電池の取り扱いについて

- 端子部をセロハンテープなどで絶縁してください。
- 分解しないでください。

Li-ion 20

充電式

リチウムイオン電池使用

本機で使用できるバッテリーについて

- 専用バッテリー（VW-VBT190/VW-VBT380/VW-VQT380）以外に当社が認定する他社製バッテリーについては、当社ホームページでご確認ください。
  http://panasonic.jp/support/info/cer_battery.html
  なお、純正品以外の他社製バッテリーの品質・性能・安全性などについては、当社では一切保証できませんので、あらかじめご了承ください。
  品質・性能・安全性などについては、その製造者が責任を負います。

AC アダプターについて

- バッテリーの温度が非常に高い、または非常に低い場合、充電に時間がかかったり、充電できないことがあります。
- ラジオ（特に AM 受信中）の近くで使うと、ラジオに雑音が入る場合があります。使用時は１ m 以上離してください。
- 使用中、AC アダプターの内部で発振音がする場合がありますが、異常ではありません。
- 使用後は、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてください。（接続したままにしていると、AC アダプター単体で約 0.1 W の電力を消費しています）
- AC アダプター、バッテリーの端子部を汚さないでください。

機器を電源コンセントの近くに設置し、遮断装置（電源プラグ）へ容易に手が届くようにしてください。

充電時の動作表示ランプについて

動作表示ランプの点滅が速いまたは遅いときは、以下の状態が考えられます。

約 4 秒間隔で点滅
（約 2 秒点灯、約 2 秒消灯）：

- バッテリーが過放電されている場合、あるいはバッテリーの温度が高いまたは低い場合です。充電はできますが、場合によっては正常に充電が完了するまでに数時間かかる場合があります。
- 正常な充電になると、約 2 秒間隔の点滅になります。その場合でもご使用の環境により、充電完了までに約 4 秒間隔の点滅になる場合があります。

約 0.5 秒間隔で点滅
（約 0.25 秒点灯、約 0.25 秒消灯）：

- 充電ができていません。一度バッテリーを本機から取り外してから、再度充電してください。
- 本機やバッテリーの端子部にごみや異物、汚れが付着していないか確認し、正しく接続し直してください。
  ごみや異物、汚れが付着している場合は、本機の電源を切ってから取り除いてください。
- バッテリーや周囲の温度が極端に高すぎる、もしくは低すぎます。適温になるまで待ってから、再度充電してください。それでも充電できないときは、本体やバッテリー、AC アダプターなどの故障と思われます。
- ワイヤレス充電対応バッテリー VW-VQT380（別売）でワイヤレス充電を行う場合は、AC アダプターまたは USB 接続ケーブルを取り外して充電してください。

消灯：

- 充電が完了しています。
- 充電が完了していないのに、動作表示ランプが消灯しているときは、本体やバッテリー、AC アダプターの故障と思われます。
  バッテリーについて、詳しくは 100 ページをお読みください。

ワイヤレス充電について

バッテリーパック VW-VQT380（別売）は、マークが付いているワイヤレス充電パッド（別売）を使ってワイヤレス充電することができます。

- ワイヤレス充電できない場合は、ワイヤレス充電パッドの取扱説明書をお読みください。

SD カードについて

長時間ご使用になると本機や SD カードが多少熱くなりますが、故障ではありません。

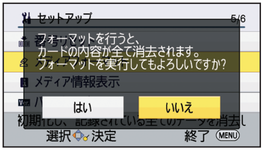
- SD カードのラベルに記載されているメモリー容量は、著作権の保護・管理のための容量と、本機やパソコンなどで通常のメモリーとして利用可能な容量の合計です。
- SD カードに強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 電気ノイズや静電気、本機や SD カードの故障などにより SD カードのデータが壊れたり、消失することがあります。

SD カードにアクセス中（ 表示中や動作中ランプ点灯中）は、以下の動作を行わない

– SD カードを抜く
– 電源を切る
– USB 接続ケーブルを抜き差しする
– 振動や衝撃を与える

メモリーカードを廃棄 / 譲渡するときのお願い

- 本機やパソコンの機能による「メディアフォーマット」や「消去」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、メモリーカード内のデータは完全には消去されません。
- 廃棄 / 譲渡の際は、メモリーカード本体を物理的に破壊するか、本機でメモリーカードを物理フォーマットすることをお勧めします。
  物理フォーマットするには、本機を AC アダプターとつないで、メニューから「セットアップ」→「メディアフォーマット」→「カード」を選び、右記の画面で撮影開始 / 一時停止ボタンを約 3 秒間押し続けます。
  SD カードデータ消去の画面が表示されますので、「はい」を選び、画面の指示に従ってください。



- メモリーカード内のデータはお客様の責任において管理してください。

取り扱い上のお願い

- カード裏の端子部にごみや水、異物を付着させない。
- 次のような場所に置かない。
  – 直射日光の当たるところや暖房器具の近くなど温度が高いところ
  – 湿気やほこりの多いところ
  – 温度差の激しいところ（露付きが発生します）
  – 静電気や電磁波が発生するところ
- 使用後は袋やケースに収める。

液晶モニターについて

- 液晶面が汚れたときや露付きが起こったときは、めがねふきのような柔らかい布でふいてください。
- 寒冷地などで本機が冷えきっている場合、電源を入れた直後は液晶モニターが通常より少し暗くなります。内部の温度が上がると通常の明るさに戻ります。

液晶モニターは、精密度の高い技術で作られていますが、液晶モニターの画面上に黒い点が現れたり、常時点灯（赤や青、緑の点）することがあります。これは故障ではありません。
液晶モニターのドットについては 99.99%以上の高精度管理をしておりますが、0.01%以下でドット欠けや常時点灯するものがあります。また、これらのドットは映像には記録されませんのでご安心ください。

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
VCCI-B

別売品のご紹介

本機では以下の別売品がお使いいただけます。

品名 (品番)

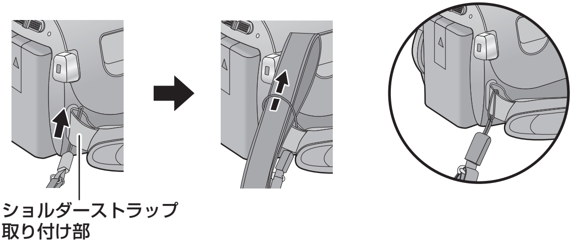
- **バッテリーチャージャー** (VW-BC10)
- **バッテリーパック** (VW-VBT190/VW-VBT380/VW-VQT380)
- **ソフトバッグ** (VW-SB051/VW-SBJ3)
- **ソフトケース** (VW-SCGS5/VW-SC1 ※)
- **ショルダーストラップ** (VW-SST1)
- **シューアダプター** (VW-SK12)
- **標準三脚** (VW-CT45)
- **アクセサリーキット** (VW-ACT190)
- **映像・音声コード** (RP-CVPM3G15)
- **HDMI ミニケーブル** (RP-CDHM15/RP-CDHM30)
- **無接点充電パッド** (QE-TM101)

※ 予備バッテリーとして、バッテリーパック VW-VBT190/VW-VBT380/VW-VQT380 を収納できます。

別売品の品番は、2012 年 12 月現在のものです。変更されることがあります。

ショルダーストラップについて

ショルダーストラップ VW-SST1 を、図のようにして取り付けることができます。

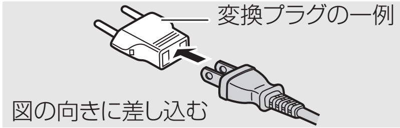


海外で使う

AC アダプターは、日本国内で使用することを前提として設計されておりますが、海外旅行等での一時的な使用は問題ありません。

- 電源電圧（100 V ～ 240 V）、電源周波数（50 Hz、60 Hz）でご使用いただけます。
- 国、地域によって電源コンセントの形状は異なるため変換プラグが必要です。
  変換プラグは旅行会社や販売店にご相談のうえ、お求めください。
- ご使用にならないときは、AC アダプターと変換プラグを電源コンセントから外してください。
- 市販の変圧器などを使用すると、故障するおそれがありますので、使用しないでください。

■ 変換プラグの付け方について



■ 撮ったものを海外で見るには

映像・音声コードでテレビに接続して見る場合は、日本と同じテレビ方式（NTSC）の映像 / 音声入力端子付テレビが必要です。

■ 主な国、地域の代表的な電源コンセントのタイプ

北米											
アメリカ合衆国	A	カナダ	A	ハワイ	A						
ヨーロッパ											
イギリス	BF,B3	イタリア	C(C2)	オーストリア	C(C2),SE	オランダ	C(C2),SE	ギリシャ	A,B,B3,C(C2),SE	スイス	A,B,C(C2),SE
スウェーデン	B,C(C2),SE	スペイン	A,C(C2),SE	デンマーク	C(C2)	ドイツ	A,C(C2),SE	ノルウェー	C(C2)	ハンガリー	C(C2)
フィンランド	B,C(C2)	フランス	A,C(C2),SE	ベルギー	B,C(C2),SE	ロシア	A,C(C2),SE				
アジア											
インド	B,BF,B3,C(C2)	インドネシア	B,B3,C(C2),SE	シンガポール	B,BF,B3	タイ	A,BF,C(C2)	大韓民国	A,C(C2),SE	台湾	A,C(C2),O
中華人民共和国	すべて	フィリピン	A,O	ベトナム	A,BF,C(C2), SE	香港特別行政区	B,BF,B3,C(C2)	マカオ特別行政区	B,BF,B3,C(C2)	マレーシア	B,BF,B3,C(C2)
オセアニア											
オーストラリア	O	グァム島	A	サイパン島	A	トンガ	O	ニュージーランド	O	フィジー	A,B,C(C2),O
中南米											
アルゼンチン	BF,C(C2),SE	プエルトリコ	A,BF,C(C2)	ブラジル	A,C(C2),SE	メキシコ	A,C(C2),SE				
中東・アフリカ											
アラブ首長国連邦	B,BF,B3	エジプト	BF,B3,C(C2),SE	クウェート	B,B3,C(C2)	トルコ	A,B,C(C2),SE	南アフリカ共和国	B,BF,B3,C(C2)	モロッコ	A,C(C2),SE

	A	B	BF	B3	C(C2)	SE	O
タイプ	アメリカンタイプ	U.K. タイプ			ヨーロピアンタイプ		オーストラリアンタイプ
コンセント形状							
プラグ形状	不要です						

著作権について

あなたが撮影（録画など）や録音したものは、個人として楽しむ以外は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。個人として楽しむ目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでお気をつけください。

- 本製品に付属するソフトウェアを無断で複製（コピー）したり、ネットワークに転載したりすることを禁止します。

- SDXC ロゴは SD-3C, LLC の商標です。
- “AVCHD”、“AVCHD Progressive”、および “AVCHD Progressive” のロゴはパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
  Dolby、ドルビー及びダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、米国およびその他の国における HDMI Licensing LLC の商標または、登録商標です。
- HDAVI Control™ は商標です。
- Microsoft®、Windows®および Windows Vista®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。
- IBMおよびPC/ATは、米国International Business Machines Corporationの登録商標です。
- Intel®、Pentium®、Celeron® および Intel® Core™ は、米国およびその他の国における Intel Corporation の商標です。
- AMD Athlon™ は、Advanced Micro Devices, Inc. の商標です。
- iMovie、Mac および Mac OS は、米国 および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- その他、この説明書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。

本製品は、AVC Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為にかかわる個人使用を除いてはライセンスされておりません。

- AVC 規格に準拠する動画（以下、AVC ビデオ）を記録する場合
- 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録された AVC ビデオを再生する場合
- ライセンスを受けた提供者から入手された AVC ビデオを再生する場合

詳細については米国法人 MPEG LA, LLC(http://www.mpegla.com) をご参照ください。

このマークが付いている製品は、ワイヤレスパワーコンソーシアム（WPC）による無接点充電規格に適合しています。規格に適合している充電パッドなら、メーカー・機種に関係なく充電することができます。
（機器によってはうまく動作しない場合があります。本製品およびご使用になる充電パッドの説明書をよくお読みください）

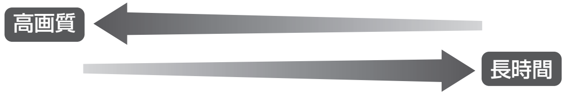
および マークは、ワイヤレスパワーコンソーシアム（WPC）の商標です。

本製品は、以下の種類のソフトウェアから構成されています。
(1)パナソニック株式会社 (パナソニック) が独自に開発したソフトウェア
(2)第三者が保有しており、パナソニックにライセンスされたソフトウェア
(3)オープンソースソフトウェア

上記 (3) に分類されるソフトウェアについては、付属のソフトウェア CD-ROM に含まれるライセンス条件をご参照ください。

記録可能時間の目安

- SD カードは主な記憶容量のみ記載しています。記載している時間は連続記録可能時間の目安です。



記録方式		AVCHD			
記録モード		1080/60p	HA	HG	HE
画素数 / フレームレート		1920×1080/ 60p	1920×1080/ 60i	1920×1080/ 60i	1920×1080/ 60i
SD カード	4 GB	約 19 分	約 30 分	約 40 分	約 1 時間 30 分
	16 GB	約 1 時間 20 分	約 2 時間	約 2 時間 40 分	約 6 時間 40 分
	64 GB	約 5 時間 20 分	約8時間 30 分	約 11 時間	約 27 時間 30 分
内蔵メモリー	8 GB	約 40 分	約 1 時間	約 1 時間 20 分	約 3 時間 20 分

記録方式		iFrame	MP4
画素数 / フレームレート		960×540/ 30p	640×360/ 30p
SD カード	4 GB	約 19 分	約 5 時間
	16 GB	約 1 時間 20 分	約 21 時間
	64 GB	約 5 時間 20 分	約 84 時間
内蔵メモリー	8 GB	約 40 分	約 10 時間

- 長時間撮影する場合は、撮影したい時間の 3 ～ 4 倍のバッテリーを準備してください。(P12)
- お買い上げ時の「記録方式」の設定は「AVCHD」、「記録モード」の設定は「HG」です。
- 1 シーンの最大連続記録時間：6 時間
- 1シーンの記録時間が6時間になると撮影を一度停止し、数秒後に自動で撮影が再開されます。
- 動きの激しい被写体を記録したり、短いシーンの撮影を繰り返すと、記録可能時間が短くなる場合があります。
- DVDディスク1枚(4.7 GB)にコピーできる時間は、上記の表の4 GBを目安にしてください。

写真の記録可能枚数の目安

- SD カードは主な記憶容量のみ記載しています。記載している枚数は記録可能枚数の目安です。

記録画素数		10M 4224×2376	2.1M 1920×1080
画像横縦比		16:9	
SD カード	4 GB	700	3200
	16 GB	2900	12500
	64 GB	11500	52000
内蔵メモリー	8 GB	1400	6000

- **撮影される被写体によっては、写真の記録可能枚数は変動します。**
- 写真の残り記録可能枚数の表示は最大9999枚です。残り記録可能枚数が9999枚を超える場合は、「残 9999 +」と表示されます。写真を記録しても表示は 9999 枚以下になるまで変わりません。

仕様

デジタルハイビジョンビデオカメラ

電源：
DC 5.0 V（AC アダプター使用時）/
3.6 V（バッテリー使用時）
消費電力：
録画時；2.5 W　　充電時；6.0 W

ビデオ記録方式：
AVCHD；AVCHD 規格 Ver 2.0 準拠
（AVCHD Progressive）
iFrame、MP4；MPEG-4 AVC ファイル規格準拠
（.MP4）
映像圧縮方式：
MPEG-4 AVC/H.264
音声圧縮形式：
AVCHD；Dolby® Digital（2ch）
iFrame、MP4；AAC（2ch）
記録モード：
1080/60p；最大 28 Mbps (VBR)
HA　；平均 17 Mbps (VBR)
HG　；平均 13 Mbps (VBR)
HE　；平均 5 Mbps (VBR)
iFrame　；最大 28 Mbps（VBR）
MP4　；平均 1.5 Mbps（VBR）

ビデオの記録画素数と記録可能時間については 108 ページをお読みください。
写真記録方式：
JPEG（DCF/Exif2.2 準拠）

写真の記録画素数と記録可能枚数については 109 ページをお読みください。
記録メディア：
SD メモリーカード
SDHC メモリーカード
SDXC メモリーカード
本機で使用できる SD カードについては、13 ページをお読みください。

内蔵メモリー；8 GB
撮像素子：
1/5.8 型 MOS 固体撮像素子 ×1
総画素；約 251 万 ×1
有効画素；
ビデオ / 写真；
約 220 万 ×1（16:9）

レンズ：
自動絞り光学 38 倍電動ズーム、
テレマクロ付き（フルレンジ AF）
F1.8 ～ F4.2(f = 2.35 mm ～ 89.3 mm)
35 mm 換算
ビデオ / 写真；
32.3 mm ～ 1365 mm（16:9）
最短撮像距離
通常時　；約 3 cm（WIDE 端）/
約 1.6 m（TELE 端）
テレマクロ時　；約 70 cm（TELE 端）
ズーム：
iA ズーム切 42 倍・iA 72 倍・
デジタル 100 倍 /400 倍
（撮像素子有効エリア利用）
手ブレ補正：
光学式（アクティブモード搭載）
モニター：
2.7 型ワイド液晶モニター(約 23 万ドット)
マイク：
ステレオマイク
最低照度：
約 4 lx(シーンモードローライト 1/30 時)、
カラーナイトビュー時　約 1 lx
AV 端子映像出力：
1.0 Vp-p 75 Ω　NTSC 方式
HDMI ミニ端子映像出力：
HDMI™ 1080p/1080i/480p
AV 端子音声出力：
251 mV　出力インピーダンス　600 Ω
2ch
HDMI ミニ端子音声出力：
AVCHD；Dolby Digital/ リニア PCM
iFrame、MP4；リニア PCM
USB：
リーダー機能
SD カード　；読み込みのみ
（著作権保護機能無し）
内蔵メモリー　；読み込みのみ
ハイスピード USB（USB 2.0）
mini-AB 端子
Host 機能（USB ハードディスク用）
バッテリー充電機能(本体電源OFF時にUSB端子から充電)

外形寸法（突起部含む）：
幅 53 mm× 高さ 60 mm×
奥行き 114 mm
本体質量：
約 185 g（バッテリー含まず）
使用時質量：
約 228 g（バッテリー使用時）
許容動作温度：
0 ℃～ 40 ℃
許容相対湿度：
10%RH ～ 80%RH
バッテリー持続時間：
12 ページをお読みください。

AC アダプター

電源：
AC 100 V— 240 V　50/60 Hz
入力容量：
21 VA（AC 100 V 時）/
30 VA（AC 240 V 時）
出力：
DC 5.0 V　1.6 A

保証とアフターサービス（よくお読みください）

使いかた・お手入れ・修理などは・・・

■ まず､お買い上げの販売店へご相談ください。

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名	
電話	（　　）　　－
お買い上げ日	年　　月　　日

修理を依頼されるときは・・・

「メッセージ表示」「故障かな！？と思ったら」（89～93ページ）でご確認のあと、直らないときは、まず接続している電源を外して、お買い上げ日と下の内容をご連絡ください。

●製品名	デジタルハイビジョンビデオカメラ
●品　番	HC-V210M
●故障の状況	できるだけ具体的に

●保証期間中は、保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、おそれ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

保証期間：お買い上げ日から本体１年間
（但し、CD-ROM内のソフトウェアの内容は含みません）

●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。

※修理料金は次の内容で構成されています。

技術料	診断・修理・調整・点検などの費用
部品代	部品および補助材料代
出張料	技術者を派遣する費用

※補修用性能部品の保有期間　８年

当社は、このデジタルハイビジョンビデオカメラの補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後８年保有しています。

■ **転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください。**
ご使用の回線（IP電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

●使いかた・お手入れなどのご相談は・・・

パナソニック お客様ご相談センター 365日 受付9時～20時
電話 フリーダイヤル 携帯・PHS OK **0120-878-365**（パナは 365日） ※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

●修理に関するご相談は・・・

パナソニック 修理ご相談窓口
電話 フリーダイヤル 携帯・PHS OK **0120-878-554**（パナは イイヨ） ※携帯電話・PHSからもご利用になれます。 • 上記電話番号がご利用いただけない場合は、各地域の「修理ご相談窓口」におかけください。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】
パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。
また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。
なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。
個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

愛情点検　長年ご使用のデジタルハイビジョンビデオカメラの点検を！

こんな症状はありませんか		ご使用中止	
	・煙が出たり、異常なにおいや音がする ・映像や音声が乱れたり出ないことがある ・内部に水や異物が入った ・本体やACアダプターが破損した ・その他の異常や故障がある		故障や事故防止のため、本体の電源を切り、ACアダプター使用時はコンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

■各地域の 修理ご相談窓口

※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

• 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

地区	地域	電話番号	住所
北海道地区	札 幌	☎(011)894-1255	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7
	旭 川	☎(0166)22-3015	旭川市2条通16丁目1166
	帯 広	☎(0155)33-8478	帯広市西20条北2丁目23-3
	函 館	☎(0138)48-6630	函館市西桔梗町589-241
東北地区	青 森	☎(0172)62-0880	青森市浪岡大字浪岡字稲村262-1
	秋 田	☎(018)868-7008	秋田市外旭川字小谷地3-1
	岩 手	☎(019)645-6130	盛岡市厨川5丁目1-43
	宮 城	☎(022)387-1117	仙台市宮城野区扇町7-4-18
	山 形	☎(023)641-8100	山形市平清水1丁目1-75
	福 島	☎(024)991-9308	郡山市備前舘2丁目5
首都圏地区	栃 木	☎(028)689-2555	宇都宮市上戸祭3丁目3-19
	群 馬	☎(027)254-2075	前橋市箱田町325-1
	茨 城	☎(029)864-8756	つくば市筑穂3丁目15-3
	埼 玉	☎(048)728-8960	桶川市赤堀2丁目4-2
	千 葉	☎(043)208-6034	千葉市中央区末広5丁目9-5
	東 京	☎(03)5477-9700	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17
	山 梨	☎(055)222-5822	中央市山之神流通団地1-5-1
	神奈川	☎(045)847-9720	横浜市港南区日野5丁目3-16
	新 潟	☎(025)286-0180	新潟市東区東明1丁目8-14
中部地区	石 川	☎(076)280-6608	金沢市玉鉾2丁目266番地
	富 山	☎(076)424-2549	富山市根塚町1丁目1-4
	福 井	☎(0776)21-0622	福井市問屋町2丁目14
	長 野	☎(0263)86-9209	松本市寿北7丁目3-11
	静 岡	☎(054)287-9000	静岡市駿河区高松2丁目24-24
	愛 知	☎(052)819-0225	名古屋市瑞穂区塩入町8-10
	岐 阜	☎(058)278-6720	岐阜市中鶉4丁目42
	三 重	☎(059)254-5520	津市久居野村町字山神421
近畿地区	滋 賀	☎(077)582-5021	栗東市小柿9丁目4-10
	京 都	☎(075)646-2123	京都市南区上鳥羽中河原3番地
	大 阪	☎(06)7730-8888	門真市松生町1-15
	奈 良	☎(0743)59-2770	大和郡山市筒井町800番地
	和歌山	☎(073)475-2984	和歌山市中島499-1
	兵 庫	☎(078)796-3140	神戸市須磨区弥栄台3丁目13-4

地区	拠点	電話	所在地
中国地区	鳥 取	☎(0857)26-9695	鳥取市安長295-1
	米 子	☎(0859)34-2129	米子市米原4丁目2-33
	松 江	☎(0852)23-1128	松江市平成町182番地14
	出 雲	☎(0853)21-3133	出雲市渡橋町416
	浜 田	☎(0855)22-6629	浜田市下府町327-93
	岡 山	☎(086)242-6236	岡山市北区野田3丁目20-14
	広 島	☎(082)295-5011	広島市西区南観音1丁目13-5
	山 口	☎(083)973-2720	山口市小郡下郷220-1
四国地区	香 川	☎(087)874-3110	高松市国分寺町国分359番地3
	徳 島	☎(088)624-0253	徳島市沖浜2丁目36
	高 知	☎(088)834-3142	高知市仲田町2-16
	愛 媛	☎(089)905-7544	愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1
九州地区	福 岡	☎(092)593-8002	春日市春日公園3丁目48
	佐 賀	☎(0952)26-9151	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044
	長 崎	☎(095)830-1658	長崎市東町1919-1
	大 分	☎(097)556-3815	大分市萩原4丁目8-35
	宮 崎	☎(0985)63-1213	宮崎市本郷北方字草葉2099-2
	熊 本	☎(096)367-6067	熊本市東区健軍本町12-3
	鹿児島	☎(099)246-7050	鹿児島市上谷口町3128-3
沖縄地区	沖 縄	☎(098)877-1207	浦添市城間4丁目23-11

所在地、電話番号は変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。
最新の「各地域の修理ご相談窓口」はホームページをご活用ください。
http://panasonic.co.jp/cs/service/area.html 1112

さくいん

英・数字

あ行

か行

さ行

た行

な行

は行

ま行

ら行

わ行

会員サイト「CLUB Panasonic」で「ご愛用者登録」をしてください

PC http://club.panasonic.jp/ 携帯

※このサービスはWEB限定のサービスです。

●使いかた・お手入れなどのご相談は…

パナソニック 総合お客様サポートサイト

http://panasonic.co.jp/cs/

パナソニック お客様ご相談センター 365日 受付9時～20時

電話 フリーダイヤル 携帯・PHS OK **0120-878-365**（パナは 365日）

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

音声ガイダンスを短くするには、案内が聞こえたら電話機ボタンの「87」と「140＃」を押してください。（番号を押しても案内が続く場合は、「＊」ボタンを押してから操作してください。）

■上記番号がご利用いただけない場合 06-6907-1187　■FAX フリーダイヤル 0120-878-236

Help desk for foreign residents in Japan　**Tokyo** (03) 3256 - 5444　**Osaka** (06) 6645 - 8787

Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays /Sundays / national holidays)

※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

●修理に関するご相談は…

パナソニック 修理サービスサイト

http://panasonic.jp/dvc/repair/

インターネットでのご依頼も可能です。

パナソニック 修理ご相談窓口

電話 フリーダイヤル 携帯・PHS OK **0120-878-554**（パナは イイヨ）

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

- 上記電話番号がご利用いただけない場合は、各地域の「修理ご相談窓口」におかけください。

- 有料で宅配便による引取・配送サービスも承っております。

ご使用の回線（IP 電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。
本書の「保証とアフターサービス」もご覧ください。

パナソニック株式会社　AVCネットワークス社

〒571-8504　大阪府門真市松生町 1 番 15 号

＜無料修理規定＞

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
   （イ）無料修理をご依頼になる場合には、商品に取扱説明書から切り離した本書を添えていただきお買い上げの販売店にお申しつけください。
   （ロ）お買い上げの販売店に無料修理をご依頼にならない場合には、お近くの修理ご相談窓口にご連絡ください。
2. ご転居の場合の修理ご依頼先等は、お買い上げの販売店またはお近くの修理ご相談窓口にご相談ください。
3. ご贈答品等で本保証書に記入の販売店で無料修理をお受けになれない場合には、お近くの修理ご相談窓口へご連絡ください。
4. 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
   （イ）使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
   （ロ）お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷
   （ハ）火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障及び損傷
   （ニ）車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷
   （ホ）電池や、消耗または摩耗した部品交換の場合
   （へ）一般家庭用以外（例えば業務用など）に使用された場合の故障及び損傷
   （ト）本書のご添付がない場合
   （チ）本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
   （リ）持込修理の対象商品を直接修理窓口へ送付した場合の送料等はお客様の負担となります。また、出張修理等を行った場合には、出張料はお客様の負担となります。
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
6. 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
7. お近くのご相談窓口は取扱説明書の保証とアフターサービス欄をご参照ください。

修理メモ

※お客様にご記入いただいた個人情報（保証書控）は、保証期間内の無料修理対応及びその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお近くの修理ご相談窓口にお問い合わせください。

※保証期間経過後の修理や補修用性能部品の保有期間については取扱説明書の「保証とアフターサービス」をご覧ください。

※This warranty is valid only in Japan.

Panasonic

持込修理

デジタルハイビジョンビデオカメラ保証書

本書はお買い上げの日から下記期間中故障が発生した場合には本書裏面記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。ご記入いただきました個人情報の利用目的は本書裏面に記載しております。お客様の個人情報に関するお問い合わせは、お買い上げの販売店にご連絡ください。詳細は裏面をご参照ください。

品番	HC-V210M
保証期間	お買い上げ日から **本体 1年間** （但し、CD-ROM 内のソフトウェアの内容は含みません）
※お買い上げ日	年　月　日
※お客様	ご住所 お名前　様 電　話（　　）　—
※販売店	住所・販売店名 電話（　　）　—

見本

パナソニック株式会社　AVCネットワークス社
〒571-8504 大阪府門真市松生町1番15号　TEL (06) 6908-1551

ご販売店様へ　※印欄は必ず記入してお渡しください。